

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年11月26日提出
【計算期間】	第10期(自 2019年9月7日至 2020年9月7日)
【ファンド名】	野村インデックスファンド・国内債券
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼代表取締役社長 中川 順子
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲二丁目 2 番 1 号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【連絡場所】	東京都江東区豊洲二丁目 2 番 1 号
【電話番号】	03-6387-5000
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、NOMURA-BPI総合（NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

ファンドは、「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を親投資信託（「マザーファンド」といいます。）とするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

■ 信託金の限度額 ■

受益権の信託金限度額は1兆円です。ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

< 商品分類 >

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

なお、ファンドに該当する商品分類及び属性区分は下記の表中に網掛け表示しております。

（野村インデックスファンド・国内債券）

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類
単位型	国 内	株 式	インデックス型
	海 外	債 券	
		不動産投信	
追加型	内 外	その他資産 ()	特殊型
		資産複合	

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	対象インデックス
--------	------	--------	------	----------

株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル		
	年2回			
	年4回	日本		日経225
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ()	年6回 (隔月)	北米	ファミリーファンド	
	年12回 (毎月)	欧州		TOPIX
不動産投信	日々	アジア		
	その他 ()	オセアニア	ファンド・オブ・ファンズ	
その他資産 (投資信託証券 (債券 一般))		中南米		その他 (NOMURA-BPI 総合)
		アフリカ		
資産複合 ()		中近東 (中東)		
資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用されます。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産（その他資産（投資信託証券））と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産（債券）とが異なります。

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。

なお、下記一般社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。

《一般社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》 <http://www.toushin.or.jp/>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（2013年2月21日現在）

< 商品分類表定義 >

[単位型投信・追加型投信の区分]

- (1)単位型投信...当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
- (2)追加型投信...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

[投資対象地域による区分]

- (1)国内...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2)海外...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3)内外...目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[投資対象資産による区分]

- (1)株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2)債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3)不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4)その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な

収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。

- (5)資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を
実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[独立した区分]

- (1)MMF(マネー・マネージメント・ファンド)...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMMFをいう。
(2)MRF(マネー・リザーブ・ファンド)...「MMF等の運営に関する規則」に定めるMRFをいう。
(3)ETF...投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

[補足分類]

- (1)インデックス型...目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
(2)特殊型...目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

< 属性区分表定義 >

[投資対象資産による属性区分]

株式

- (1)一般...次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。
(2)大型株...目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。
(3)中小型株...目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

債券

- (1)一般...次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。
(2)公債...目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。
(3)社債...目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。
(4)その他債券...目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。
(5)格付等クレジットによる属性...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記(1)から(4)に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

不動産投信...これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

その他資産...組入れている資産を記載するものとする。

資産複合...以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

- (1)資産配分固定型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。
(2)資産配分変更型...目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるもの若しくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

[決算頻度による属性区分]

- (1)年1回...目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
(2)年2回...目論見書又は投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
(3)年4回...目論見書又は投資信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいう。
(4)年6回(隔月)...目論見書又は投資信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいう。
(5)年12回(毎月)...目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。
(6)日々...目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。
(7)その他...上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

[投資対象地域による属性区分(重複使用可能)]

- (1)グローバル...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。
(2)日本...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(3)北米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(4)欧州...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があ

るものをいう。

- (5) アジア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (6) オセアニア...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (7) 中南米...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (8) アフリカ...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (9) 中近東(中東)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (10) エマージング...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

[投資形態による属性区分]

- (1) ファミリーファンド...目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。
- (2) ファンド・オブ・ファンズ...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

[為替ヘッジによる属性区分]

- (1) 為替ヘッジあり...目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。
- (2) 為替ヘッジなし...目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

[インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分]

- (1) 日経225
- (2) TOPIX
- (3) その他の指数...上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

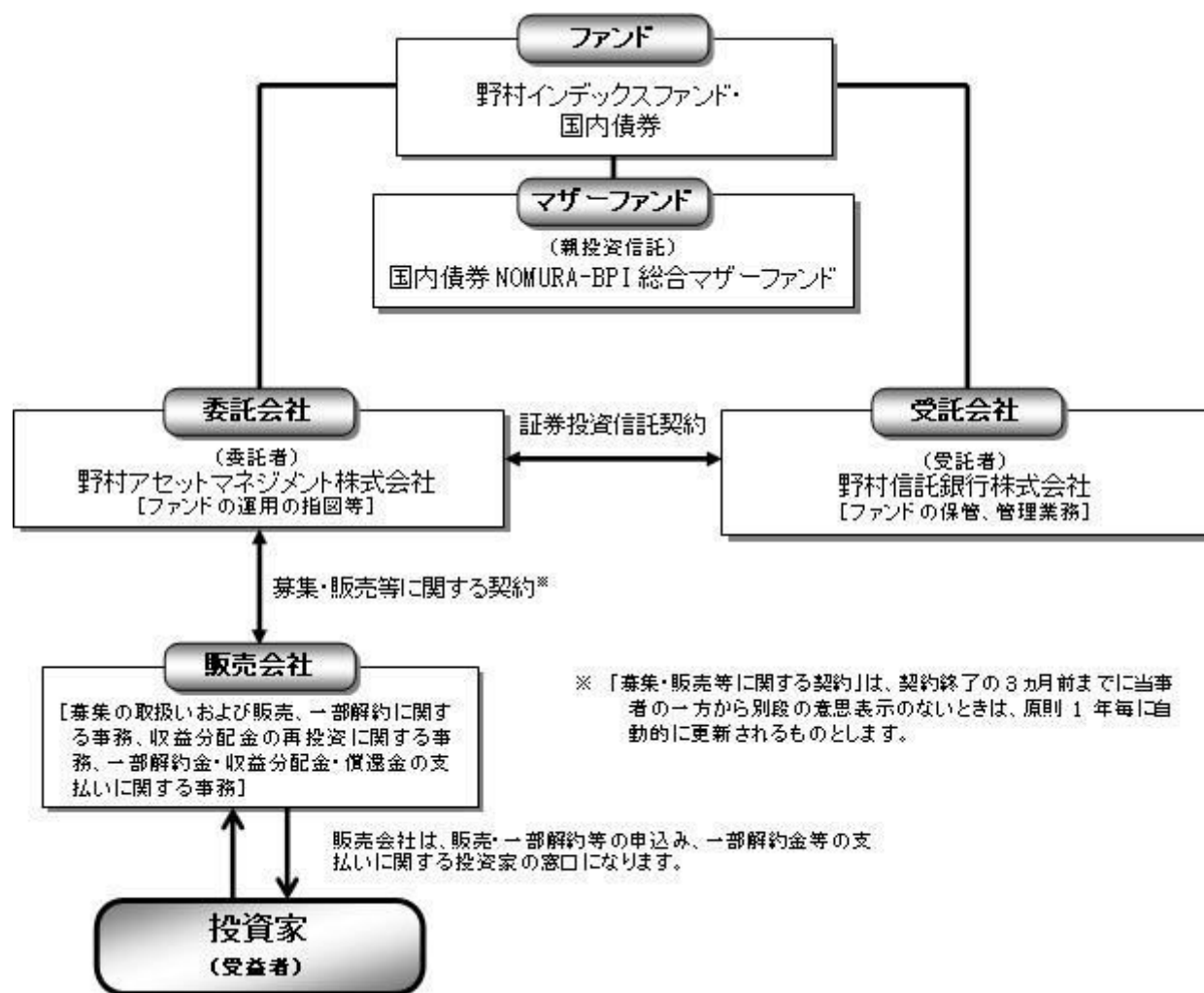
[特殊型]

- (1) ブル・ベア型...目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 条件付運用型...目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資又はその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。
- (3) ロング・ショート型/絶対収益追求型...目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。
- (4) その他型...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(3)に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

(2) 【ファンドの沿革】

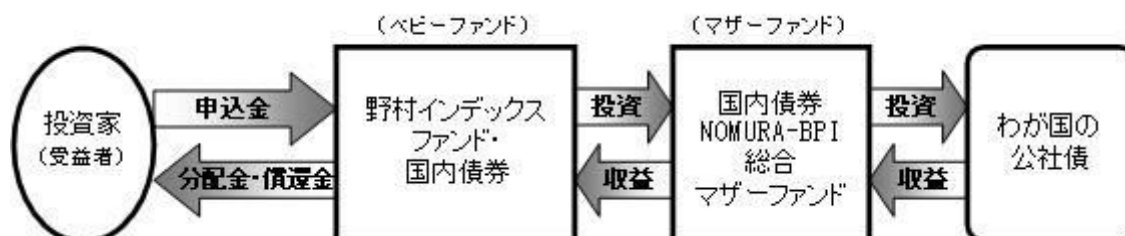
2010年11月26日	信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2020年 5月27日	野村ターゲットプライス「日経225」(国内債券運用移行型)と併合

(3) 【ファンドの仕組み】



《ファミリーファンド方式について》

ファンドは「国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド」を親投資信託（マザーファンド）とするファミリーファンド方式で運用します。ファミリーファンド方式とは、投資家の皆様が投資した資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、実質的な運用を行なうしくみをいいます。



マザーファンドの運用の方針等については、「第1ファンドの状況 2 投資方針（参考）マザーファンドの概要」をご参照ください。

ファンドは、マザーファンドのほかに、公社債等に直接投資する場合があります。

■ 委託会社の概況(2020年10月末現在) ■

・ 名称

野村アセットマネジメント株式会社

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

1959年12月1日

野村證券投資信託委託株式会社として設立

1997年10月1日

投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

2000年11月1日

野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1-13-1	5,150,693株	100%

2【投資方針】

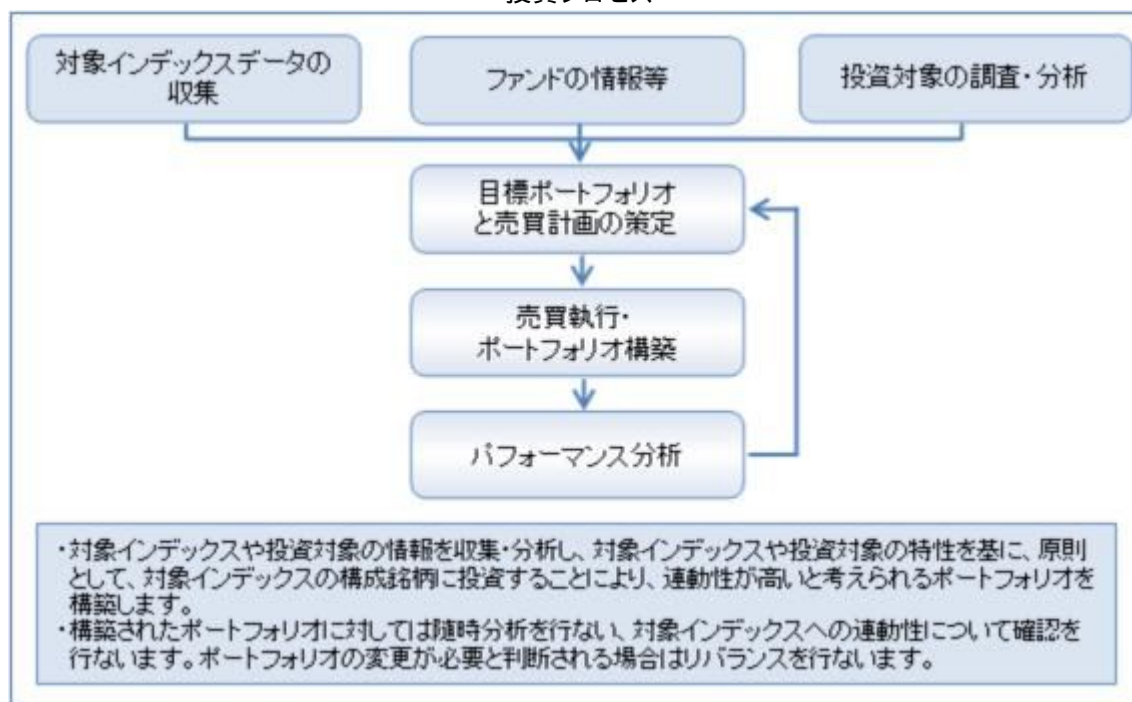
(1)【投資方針】

NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

■ NOMURA-BPI総合とは ■

NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

■ 投資プロセス ■



* 上記の投資プロセスは、今後変更となる場合があります。

■ 指数の著作権等について ■

NOMURA-BPI 総合は、野村證券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しております。また、野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

（２）【投資対象】

ファンドは、わが国の公社債を実質的な主要投資対象とします。

ファンドは、親投資信託である「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。

なお、デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定します。

投資の対象とする資産の種類(約款第15条)

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、下記「(5)投資制限 および 」に定めるものに限ります。）に係る権利

ハ．約束手形（イに掲げるものに該当するものを除きます。）

ニ．金銭債権（イ及びハに掲げるものに該当するものを除きます。）

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

有価証券の指図範囲(約款第16条第1項)

委託者は、信託金を、野村アセットマネジメント株式会社を委託者とし、野村信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である国内債券NOMURA - BPI総合 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。）に投資することを指図します。

1. 国債証券

2. 地方債証券

3. 特別の法律により法人の発行する債券

4. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券を含みます。）

5. 特定目的会社に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

6. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

7. 転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債 の新株予約権に限ります。）

の行使により取得した株券

転換社債型新株予約権付社債とは、新株予約権付社債のうち会社法第236 条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めが

ある新株予約権付社債を含みます。）をいいます。

8. コマーシャル・ペーパー

9. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの

10. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

11. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

12. 外国の者に対する権利で前号の有価証券に表示されるべき権利の性質を有するもの

13. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

14. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）

なお、第7号の証券または証書および第9号の証券または証書のうち第7号の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第1号から第6号までの証券および第9号の証券または証書のうち第1号から第6号までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といいます。

金融商品の指図範囲(約款第16条第2項)

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金

2. 指定金銭信託（上記「(2)投資対象 有価証券の指図範囲」に掲げるものを除く。）

3. コール・ローン

4. 手形割引市場において売買される手形

5. 貸付債権信託受益権であって、金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの

6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

その他の投資対象

1. 先物取引等

2. スワップ取引

(参考)マザーファンドの概要

「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」

運用の基本方針

約款第13条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、NOMURA-BPI総合（NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

2. 運用方法

(1) 投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

主としてわが国の公社債に投資することにより、NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指します。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

株式への投資は行ないません。

外貨建資産への投資は行ないません。

有価証券先物取引等は約款第14条の範囲で行ないます。

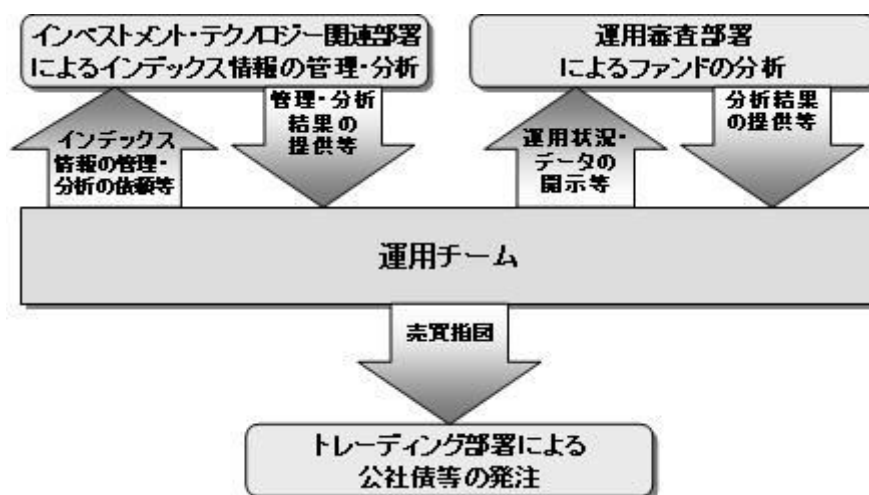
スワップ取引は約款第15条の範囲で行ないます。

一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

(3) 【運用体制】

ファンドの運用体制は以下の通りです。

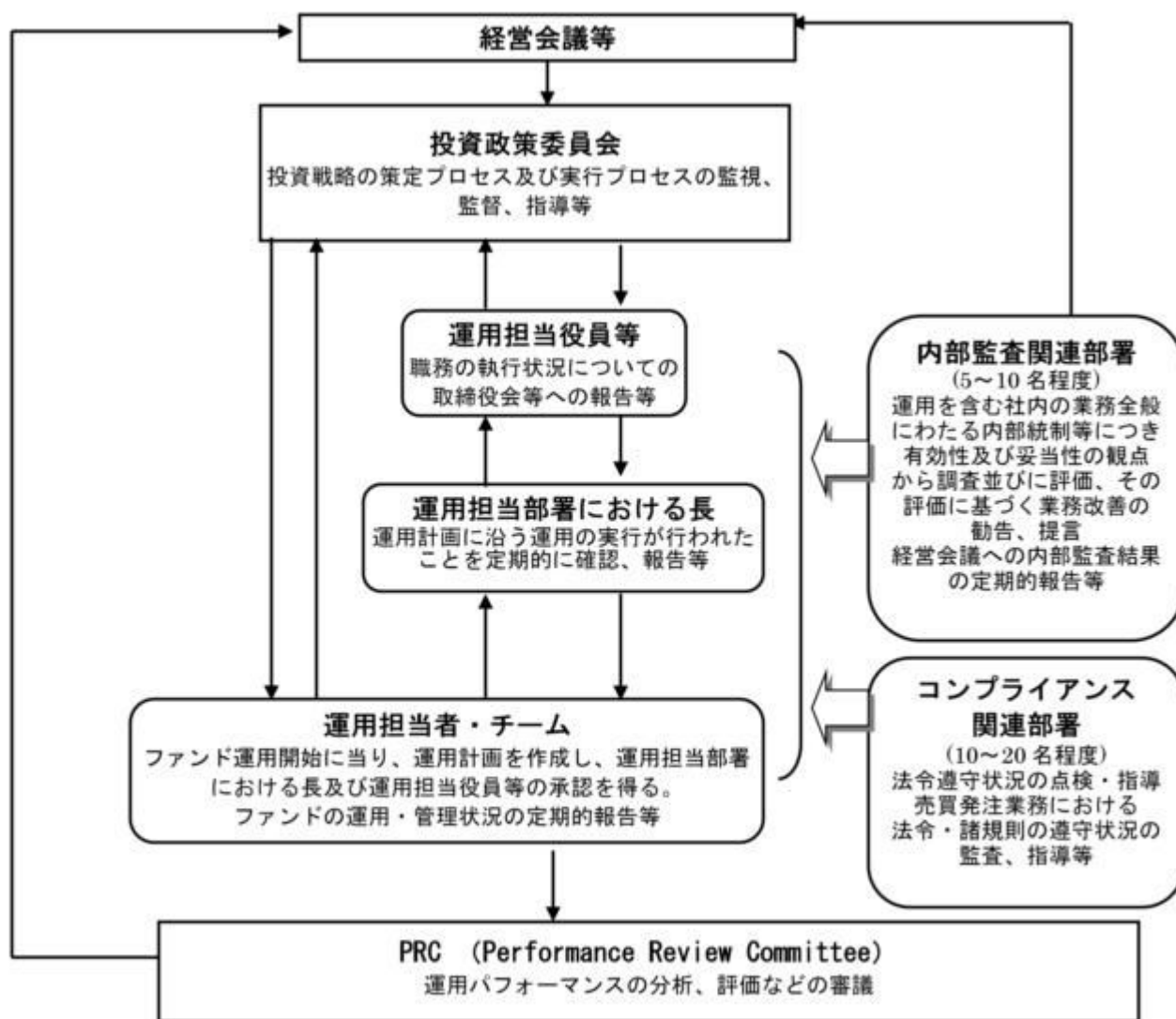


運用体制はマザーファンドを含め記載されております。

当社では、ファンドの運用に関する社内規程として、運用担当者に関する規程 並びにスワップ取引、信用リスク管理、資金の借入、外国為替の予約取引等、信用取引等に関して各々、取扱い基準を設けております。

ファンドを含む委託会社における投資信託の内部管理及び意思決定を監督する組織等は以下の通りで

す。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行ないます。

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、利子・配当等収益等を中心として基準価額水準等を勘案して委託者が決定しま

す。

留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

利子・配当等収益とは、配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額で、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

売買益とは、売買損益に評価損益を加減した利益金額で、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの決算日

原則として毎年9月6日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

分配金のお支払い

お客様と販売会社とのご契約によって、以下の通りとなります。

< 分配金をお支払いする契約の場合 >

決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。¹

< 分配金を再投資する契約の場合 >

分配金は税引き後無手数料で再投資されます。²

1 分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

2 再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（５）【投資制限】

株式への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

株式への直接投資は行ないません。株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

外貨建資産への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

外貨建資産への投資は行ないません。

デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。

一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行な

いません。(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

先物取引等の運用指図・目的・範囲(約款第21条)

()委託者は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

1. 先物取引の売建およびコール・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする有価証券（以下「ヘッジ対象有価証券」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象有価証券の組入可能額（組入ヘッジ対象有価証券を差し引いた額）に信託財産が限月までに受取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、組入抵当証券および組入指定金銭信託の受益証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、且つ信託財産が限月までに受取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに上記「(2)投資対象 金融商品の指図範囲」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付の指図は、本条で規定する全オプション取引に係る支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

()委託者は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の金利に係るこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建およびコール・オプションの売付の指図は、建玉の合計額がヘッジ対象とする金利商品（信託財産が1年以内に受け取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに上記「(2)投資対象 金融商品の指図範囲」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用されているものをいい、以下「ヘッジ対象金利商品」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付の指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに上記「(2)投資対象 金融商品の指図範囲」第1号から第4号に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付の指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点のヘッジ対象金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、且つ本条で規定する全オプション取引に係る支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引の運用指図・目的・範囲(約款第22条)

()委託者は、信託財産に属する資産の効率的な運用ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取り金利または異なった受取り金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

- ()スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ()スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。以下本項において同じ。）が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- ()上記()においてマザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- ()スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が提示する価額、価格情報会社が提供する価額等、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価するものとします。
- ()委託者は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

同一銘柄の株式への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

同一銘柄の転換社債等への投資割合(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

投資する株式の範囲(約款第19条)

- ()委託者が投資することを指図する株式は、わが国の金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- ()上記()の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託者が投資することを指図することができるものとします。

有価証券の貸付の指図および範囲(約款第24条)

- ()委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付の指図をすることができます。
1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- ()上記()に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- ()委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行なうものとします。

公社債の借入れ(約款第25条)

- ()委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行なうにあたり担保の提供が必要と認めたときは、担保の提供の指図を行なうものとします。
- ()上記()の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- ()信託財産の一部解約等の事由により、上記()の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- ()上記()の借入れにかかる品貸料は信託財産中から支弁します。

資金の借入れ(約款第31条)

- ()委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。
- ()一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- ()収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ()借入金の利息は信託財産中より支弁します。

投資信託証券への投資割合

投資信託証券（マザーファンド受益証券を除きます。）への投資は行ないません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。（運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限）

3【投資リスク】

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

[債券価格変動リスク]

債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドの基準価額と対象インデックスは、費用等の要因により、完全に一致するものではありません。また、ファンドの投資成果が対象インデックスとの連動または上回ることを保証するものではありません。
- 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

委託会社におけるリスクマネジメント体制

リスク管理関連の委員会

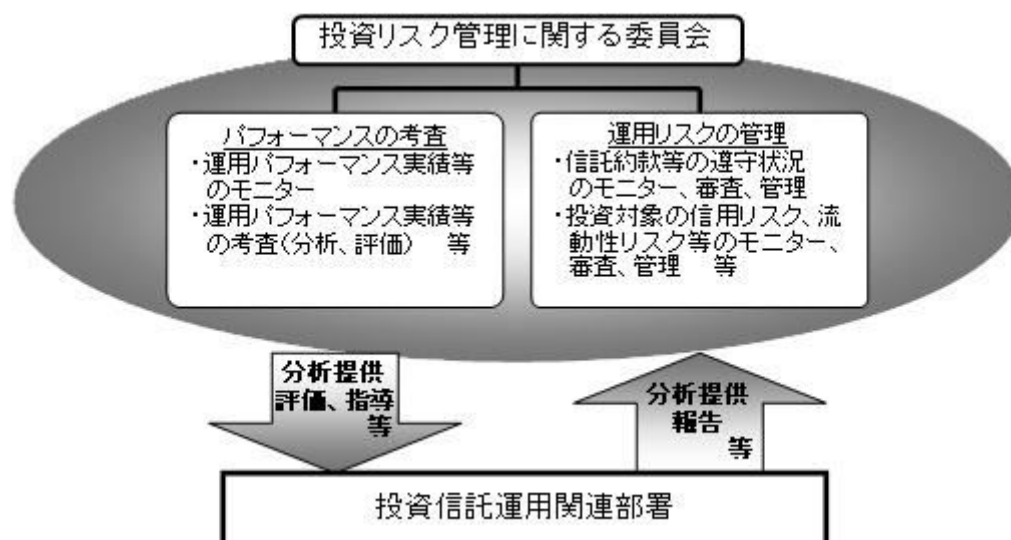
パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査（分析、評価）の結果の報告、審議を行ないます。

運用リスクの管理

投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

リスク管理体制図



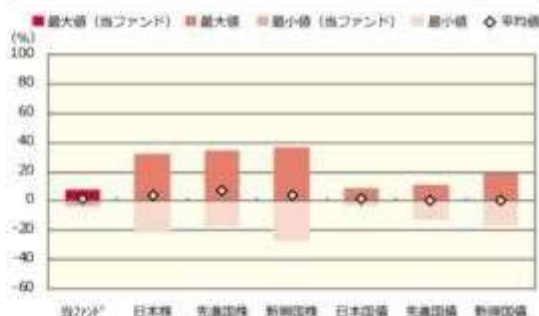
投資リスクに関する管理体制等は今後変更となる場合があります。

■ リスクの定量的比較（2015年10月末～2020年9月末：月次）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	7.8	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値 (%)	△ 3.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値 (%)	1.0	4.2	6.6	3.5	1.6	0.7	0.5

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2015年10月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<代表的な資産クラスの指数>

- 日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株：MSCI-KOKUSA 指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債：NOMURA-BPI 国債
- 先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）
- 新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

■ 代表的な資産クラスの指数の著作権等について ■

- 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、株式会社東京証券取引所（東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所に所有しています。なお、本商品は、東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を負いません。
- MSCI-KOKUSA 指数（配当込み、円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）・・・MSCI-KOKUSA 指数（配当込み、円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債・・・NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
- FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）・・・「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や価格を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイス等を法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JP Morgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPMC）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMC やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または買主になっている可能性もあります。
- 米国の J.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPM LLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての提供、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする種類の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。
- JPM LLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JP Morgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC（他）

4【手数料等及び税金】

（1）【申込手数料】

取得申込日の基準価額に、1.1%(申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する率)(税抜

1.0%)以内 で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社については、「サポートダイヤル」までお問い合わせ下さい。

収益分配金を再投資する場合には無手数料とします。

購入時手数料は、商品及び関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。

（２）【換金（解約）手数料】

換金手数料はありません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.44%(税抜年0.40%)の率を乗じて得た額とし、その配分については次の通り(税抜)とします。

< 委託会社 >	< 販売会社 >	< 受託会社 >
年0.185%	年0.185%	年0.03%

ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

支払先の役務の内容

< 委託会社 >	< 販売会社 >	< 受託会社 >
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

（４）【その他の手数料等】

ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

ファンドに関する組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する費用はファンドから支払われます。

監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときに信託財産から支払われます。

これらの費用等の中には、運用状況等により変動するものがあり、事前に料率、上限額等を表示することができないものがあります。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

■個人、法人別の課税について■

個人の投資家に対する課税

< 収益分配金に対する課税 >

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%(国税(所得税及び復興特別所得税)15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

< 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対する課税 >

換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)については、申告分離課税により20.315%(国税15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限りです。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 ^(注2)	《配当所得》
・特定公社債^(注1)の利子 ・公募公社債投資信託の収益分配金	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の ・譲渡益 ・譲渡損	・上場株式の配当 ・公募株式投資信託の収益分配金

(注1)「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、2015年12月31日以前に発行された公社債（同族会社が発行した社債を除きます。）などの一定の公社債をいいます。

(注2)株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

上場株式、公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■ 換金(解約)時および償還時の課税について ■

[個人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金(解約)時および償還時の価額から取得費(申込手数料(税込)を含む)を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象(配当所得)となります。

なお、販売会社の買取りによるご換金の場合は、税金の取扱いが異なる場合があります。買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

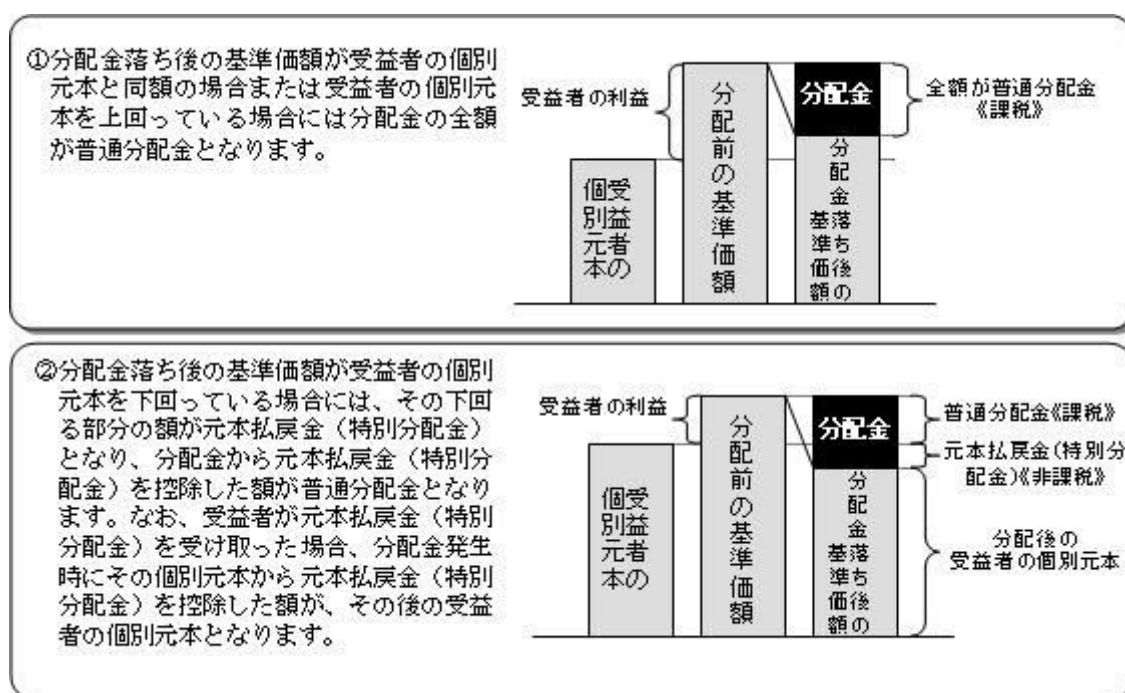
■ 個別元本について ■

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

■ 分配金の課税について ■

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（2020年9月末現在）が変更になる場合があります。

以下は2020年9月30日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）【投資状況】

野村インデックスファンド・国内債券

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	4,505,443,727	99.99
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	450,166	0.00
合計（純資産総額）		4,505,893,893	100.00

（参考）国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	553,800,992,260	79.38
地方債証券	日本	48,193,016,342	6.90
特殊債券	日本	59,739,867,024	8.56
社債券	日本	29,668,661,150	4.25
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	6,248,497,407	0.89
合計（純資産総額）		697,651,034,183	100.00

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

野村インデックスファンド・国内債券

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
1	日本	親投資信託 受益証券	国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド	3,387,806,397	1.3261	4,492,601,364	1.3299	4,505,443,727	99.99

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.99
合 計	99.99

（参考）国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

順位	国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	利率 （％）	償還期限	投資 比率 （％）
1	日本	国債証券	国庫債券 利付 （５年）第１３ ０回	7,500,000,000	100.40	7,530,375,000	100.29	7,521,975,000	0.1	2021/12/20	1.07
2	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ３４回	6,600,000,000	103.07	6,802,950,000	102.72	6,779,982,000	0.6	2024/6/20	0.97
3	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５２回	6,600,000,000	101.47	6,697,657,000	101.40	6,692,598,000	0.1	2028/9/20	0.95
4	日本	国債証券	国庫債券 利付 （５年）第１３ ３回	6,200,000,000	100.62	6,238,440,000	100.47	6,229,388,000	0.1	2022/9/20	0.89
5	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ２９回	6,000,000,000	102.98	6,179,135,000	102.55	6,153,000,000	0.8	2023/6/20	0.88
6	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４３回	5,900,000,000	101.40	5,983,005,000	101.23	5,972,983,000	0.1	2026/6/20	0.85
7	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５０回	5,850,000,000	101.64	5,946,349,500	101.46	5,935,761,000	0.1	2028/3/20	0.85
8	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４４回	5,800,000,000	101.50	5,887,058,000	101.29	5,874,936,000	0.1	2026/9/20	0.84
9	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５１回	5,600,000,000	101.57	5,688,088,000	101.43	5,680,472,000	0.1	2028/6/20	0.81
10	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ３２回	5,400,000,000	102.69	5,545,260,000	102.35	5,527,386,000	0.6	2023/12/20	0.79
11	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５８回	5,470,000,000	100.93	5,521,335,100	100.99	5,524,371,800	0.1	2030/3/20	0.79
12	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４７回	5,400,000,000	101.67	5,490,218,000	101.42	5,476,734,000	0.1	2027/6/20	0.78
13	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４１回	5,300,000,000	102.47	5,430,910,000	102.17	5,415,487,000	0.3	2025/12/20	0.77
14	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４９回	5,300,000,000	101.45	5,377,102,000	101.45	5,377,062,000	0.1	2027/12/20	0.77
15	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５９回	5,300,000,000	100.63	5,333,618,000	100.87	5,346,269,000	0.1	2030/6/20	0.76
16	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ２８回	5,250,000,000	102.19	5,365,395,000	101.81	5,345,445,000	0.6	2023/3/20	0.76
17	日本	国債証券	国庫債券 利付 （５年）第１３ １回	5,300,000,000	100.47	5,325,014,000	100.35	5,319,027,000	0.1	2022/3/20	0.76
18	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５３回	5,100,000,000	101.40	5,171,502,000	101.36	5,169,513,000	0.1	2028/12/20	0.74
19	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ５５回	5,100,000,000	101.15	5,158,905,000	101.22	5,162,424,000	0.1	2029/6/20	0.73
20	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ３９回	5,000,000,000	102.73	5,136,630,000	102.44	5,122,100,000	0.4	2025/6/20	0.73
21	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ３８回	5,000,000,000	102.58	5,129,264,000	102.38	5,119,000,000	0.4	2025/3/20	0.73
22	日本	国債証券	国庫債券 利付 （１０年）第３ ４５回	5,000,000,000	101.59	5,079,650,000	101.31	5,065,750,000	0.1	2026/12/20	0.72

23	日本	国債証券	国庫債券 利付 (5 年) 第 1 4 3 回	4,970,000,000	101.00	5,019,928,700	101.03	5,021,340,100	0.1	2025/3/20	0.71
24	日本	国債証券	国庫債券 利付 (2 0 年) 第 1 4 7 回	4,200,000,000	118.53	4,978,554,000	118.56	4,979,688,000	1.6	2033/12/20	0.71
25	日本	国債証券	国庫債券 利付 (1 0 年) 第 3 4 6 回	4,900,000,000	101.68	4,982,712,000	101.36	4,966,983,000	0.1	2027/3/20	0.71
26	日本	国債証券	国庫債券 利付 (5 年) 第 1 3 8 回	4,900,000,000	100.82	4,940,180,000	100.75	4,937,191,000	0.1	2023/12/20	0.70
27	日本	国債証券	国庫債券 利付 (1 0 年) 第 3 5 6 回	4,800,000,000	100.98	4,847,420,000	101.12	4,853,904,000	0.1	2029/9/20	0.69
28	日本	国債証券	国庫債券 利付 (1 0 年) 第 3 3 5 回	4,600,000,000	102.83	4,730,180,000	102.51	4,715,598,000	0.5	2024/9/20	0.67
29	日本	国債証券	国庫債券 利付 (1 0 年) 第 3 4 8 回	4,600,000,000	101.81	4,683,352,000	101.43	4,666,194,000	0.1	2027/9/20	0.66
30	日本	国債証券	国庫債券 利付 (5 年) 第 1 4 4 回	4,500,000,000	100.90	4,540,515,000	101.01	4,545,855,000	0.1	2025/6/20	0.65

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率 (%)
国債証券	79.38
地方債証券	6.90
特殊債券	8.56
社債券	4.25
合 計	99.10

【投資不動産物件】

野村インデックスファンド・国内債券

該当事項はありません。

（参考）国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

野村インデックスファンド・国内債券

該当事項はありません。

（参考）国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

野村インデックスファンド・国内債券

2020年9月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間	(2011年 9月 6日)	56	56	1.0153	1.0153
第2計算期間	(2012年 9月 6日)	148	148	1.0331	1.0331
第3計算期間	(2013年 9月 6日)	192	192	1.0396	1.0396
第4計算期間	(2014年 9月 8日)	577	577	1.0661	1.0661
第5計算期間	(2015年 9月 7日)	1,093	1,093	1.0853	1.0853
第6計算期間	(2016年 9月 6日)	1,796	1,796	1.1360	1.1360
第7計算期間	(2017年 9月 6日)	2,731	2,731	1.1239	1.1239
第8計算期間	(2018年 9月 6日)	3,553	3,553	1.1163	1.1163
第9計算期間	(2019年 9月 6日)	4,207	4,207	1.1603	1.1603
第10計算期間	(2020年 9月 7日)	4,474	4,474	1.1245	1.1245
	2019年 9月末日	4,500	—	1.1526	—
	10月末日	4,504	—	1.1477	—
	11月末日	4,522	—	1.1434	—
	12月末日	4,477	—	1.1396	—
	2020年 1月末日	4,430	—	1.1439	—
	2月末日	4,431	—	1.1524	—
	3月末日	4,255	—	1.1334	—
	4月末日	4,267	—	1.1368	—
	5月末日	4,262	—	1.1315	—
	6月末日	4,167	—	1.1267	—
	7月末日	4,228	—	1.1302	—
	8月末日	4,469	—	1.1246	—
	9月末日	4,505	—	1.1274	—

【分配の推移】

野村インデックスファンド・国内債券

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2010年11月26日～2011年 9月 6日	0.0000円
第2計算期間	2011年 9月 7日～2012年 9月 6日	0.0000円
第3計算期間	2012年 9月 7日～2013年 9月 6日	0.0000円

第4計算期間	2013年 9月 7日～2014年 9月 8日	0.0000円
第5計算期間	2014年 9月 9日～2015年 9月 7日	0.0000円
第6計算期間	2015年 9月 8日～2016年 9月 6日	0.0000円
第7計算期間	2016年 9月 7日～2017年 9月 6日	0.0000円
第8計算期間	2017年 9月 7日～2018年 9月 6日	0.0000円
第9計算期間	2018年 9月 7日～2019年 9月 6日	0.0000円
第10計算期間	2019年 9月 7日～2020年 9月 7日	0.0000円

【収益率の推移】

野村インデックスファンド・国内債券

	計算期間	収益率
第1計算期間	2010年11月26日～2011年 9月 6日	1.5%
第2計算期間	2011年 9月 7日～2012年 9月 6日	1.8%
第3計算期間	2012年 9月 7日～2013年 9月 6日	0.6%
第4計算期間	2013年 9月 7日～2014年 9月 8日	2.5%
第5計算期間	2014年 9月 9日～2015年 9月 7日	1.8%
第6計算期間	2015年 9月 8日～2016年 9月 6日	4.7%
第7計算期間	2016年 9月 7日～2017年 9月 6日	1.1%
第8計算期間	2017年 9月 7日～2018年 9月 6日	0.7%
第9計算期間	2018年 9月 7日～2019年 9月 6日	3.9%
第10計算期間	2019年 9月 7日～2020年 9月 7日	3.1%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）【設定及び解約の実績】

野村インデックスファンド・国内債券

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2010年11月26日～2011年 9月 6日	116,245,355	60,323,869	55,921,486
第2計算期間	2011年 9月 7日～2012年 9月 6日	256,789,350	169,375,428	143,335,408
第3計算期間	2012年 9月 7日～2013年 9月 6日	438,827,540	396,670,851	185,492,097
第4計算期間	2013年 9月 7日～2014年 9月 8日	1,107,505,193	751,773,049	541,224,241
第5計算期間	2014年 9月 9日～2015年 9月 7日	1,455,049,303	989,113,233	1,007,160,311
第6計算期間	2015年 9月 8日～2016年 9月 6日	1,352,923,455	778,609,325	1,581,474,441
第7計算期間	2016年 9月 7日～2017年 9月 6日	2,442,424,558	1,593,467,124	2,430,431,875
第8計算期間	2017年 9月 7日～2018年 9月 6日	3,932,461,455	3,179,785,332	3,183,107,998
第9計算期間	2018年 9月 7日～2019年 9月 6日	2,654,308,113	2,211,187,737	3,626,228,374
第10計算期間	2019年 9月 7日～2020年 9月 7日	2,091,356,491	1,738,619,374	3,978,965,491

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

参考情報



運用実績（2020年9月30日現在）

■ 基準価額・純資産の推移（日次：設定来）



■ 分配の推移

（1万口あたり、課税前）

2020年9月	0 円
2019年9月	0 円
2018年9月	0 円
2017年9月	0 円
2016年9月	0 円
設定来累計	0 円

■ 主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率（上位）

順位	銘柄	種類	投資比率（%）
1	国庫債券 利付（5年）第130回	国債証券	1.1
2	国庫債券 利付（10年）第334回	国債証券	1.0
3	国庫債券 利付（10年）第352回	国債証券	0.9
4	国庫債券 利付（5年）第133回	国債証券	0.9
5	国庫債券 利付（10年）第329回	国債証券	0.9
6	国庫債券 利付（10年）第343回	国債証券	0.8
7	国庫債券 利付（10年）第350回	国債証券	0.8
8	国庫債券 利付（10年）第344回	国債証券	0.8
9	国庫債券 利付（10年）第351回	国債証券	0.8
10	国庫債券 利付（10年）第332回	国債証券	0.8

■ 年間収益率の推移（暦年ベース）



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・2020年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●ファンドは2020年5月27日に「野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）」を対象としてファンド併合しております。なお、「野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）」の運用実績は記載しておりません。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

申込期間中の各営業日に、有価証券届出書の「第一部 証券情報」にしたがって受益権の募集が行なわれます。

取得申込の受付については、午後3時までに、取得申込みが行なわれかつ当該取得申込みにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日のお申込み分とします。

ファンドの申込(販売)手続についてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

< 受付時間 > 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

販売の単位は、1万口以上1万口単位(当初元本1口＝1円)または1万円以上1円単位とします。

■ 信託の併合 ■

併合前の信託に関し、取得申込日から当該取得申込に係る追加信託が行なわれる日までの間に信託の併合が行なわれる場合は、この信託の受益権の取得申込がされたものとします。

■ 積立方式 ■

販売会社によっては、「定時定額購入サービス」等に関する契約を締結した場合、当該契約で規定する取得申込の単位によるものとします。

当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあります。

受益権の販売価額は、取得申込日の基準価額とします。

購入のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、信託約款の規定に従い、委託者の判断でファンドの受益権の取得申込みの受付を中止すること、および既に受付けた取得申込みの受付を取り消す場合があります。

取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託者は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託者から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないます。受託者は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行ないます。

2【換金（解約）手続等】

受益者は、委託者に1万口単位、1口単位または1円単位で一部解約の実行を請求することができます。

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託の併合 ■

併合前の信託に関し、一部解約の実行の請求日から当該一部解約の実行が行なわれる日までの間に信託の併合が行なわれる場合は、この信託の受益権の一部解約の実行の請求がされたものとしします。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

一部解約の実行の請求の受付けについては、午後3時までに、解約請求のお申込みが行なわれかつ、その解約請求のお申込みの受付けにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日のお申込み分とします。

換金価額は、解約申込みの受付日の基準価額となります。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

< 受付時間 > 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

信託財産の資金管理を円滑に行なうため、大口解約には制限を設ける場合があります。

解約代金は、原則として一部解約の実行の請求日から起算して5営業日目から販売会社において支払います。

金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、信託約款の規定に従い、委託者の判断で一部解約の実行の請求の受付けを中止すること、および既に受付けた一部解約の実行の請求の受付けを取り消す場合があります。

また、一部解約の実行の請求の受付けが中止された場合には、受益者は当該受付け中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受付けたものとします。

換金の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託者が行なうのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

< 基準価額の計算方法 >

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
公社債等	原則として、基準価額計算日における以下のいずれかの価額で評価します。 日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値) 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(売気配相場を除く) 価格情報会社の提供する価額

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル 0120-753104(フリーダイヤル)

< 受付時間 > 営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

(2) 【保管】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、受益証券を発行しませんので、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

無期限とします(2010年11月26日設定)。

(4) 【計算期間】

原則として、毎年9月7日から翌年9月6日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

(5) 【その他】

(a) ファンドの繰上償還条項

委託者は、信託期間中において、信託契約の一部を解約することにより、受益権の口数が30億口を下回った場合またはこの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させる

ことができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

(b)信託期間の終了

- () 委託者は、上記「(a)ファンドの繰上償還条項」に従い信託期間を終了させるには、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- () 上記()の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- () 上記()の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- () 上記()から()までの規定は、委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記()から()までに規定するこの信託契約の解約の手続を行うことが困難な場合には適用しません。
- () 委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- () 委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の委託者に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、下記「(d)信託約款の変更等()」の書面決議が否決となる場合を除き、その委託者と受託者との間において存続します。

(c)運用報告書

ファンドの決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に対して交付します。

(d)信託約款の変更等

- () 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- () 委託者は、上記()の事項（上記()の変更事項にあつてはその変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあつてはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- () 上記()の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が

属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

() 上記()の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。

() 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。

() 上記()から()までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

() 上記()から()の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっては、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行なうことはできません。

(e) 公告

委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<http://www.nomura-am.co.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

(f) 受託者の辞任および解任に伴う取扱い

() 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、上記「(d) 信託約款の変更等」に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

() 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

(g) 反対受益者の受益権買取請求の不適用

この信託は、受益者が一部解約の実行の請求を行なったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、信託契約の解約または重大な約款の変更等を行なう場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

(h) 他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示請求を行うことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

(i) 関係法人との契約の更新に関する手続

委託者と販売会社との間で締結する「募集・販売等に関する契約」は、契約終了の3ヵ月前までに当事者の一方から別段の意思表示のないときは、原則1年毎に自動的に更新されるものとします。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

収益分配金に対する請求権

■ 収益分配金の支払い開始日 ■

< 累積投資契約を結んでいない場合 >

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始します。販売会社でお受取りください。

< 累積投資契約を結んでいる場合 >

税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。この場合の受益権の価額は、各計算期間終了日（決算日）の基準価額とします。なお、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

■ 収益分配金請求権の失効 ■

受益者は、収益分配金を支払開始日から5年間支払請求しないと権利を失います。

償還金に対する請求権

■ 償還金の支払い開始日 ■

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに支払いを開始します。

■ 償還金請求権の失効 ■

受益者は、償還金を支払開始日から10年間支払請求しないと権利を失います。

換金（解約）請求権

■ 換金（解約）の単位 ■

受益者は、受益権を1万口単位、1口単位または1円単位で換金できます。

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 換金（解約）代金の支払い開始日 ■

一部解約金は、受益者の解約申込みの受付日から起算して、原則として、5営業日目から受益者にお支払いします。

第3【ファンドの経理状況】

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第10期計算期間(2019年9月7日から2020年9月7日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

(3)当ファンドは、2020年5月27日にファンド併合を行っており、比較情報には存続ファンドである当ファンドの第9期計算期間(2018年9月7日から2019年9月6日まで)の情報のみ表示しており、併合対象ファンドの情報は含めておりません。

1【財務諸表】

【野村インデックスファンド・国内債券】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第9期 (2019年 9月 6日現在)	第10期 (2020年 9月 7日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	29,106,118	10,888,361
親投資信託受益証券	4,207,076,697	4,473,804,644
未収入金	116,306,871	13,984,523
流動資産合計	4,352,489,686	4,498,677,528
資産合計	4,352,489,686	4,498,677,528
負債の部		
流動負債		
未払解約金	136,164,363	14,889,411
未払受託者報酬	658,706	711,664
未払委託者報酬	8,123,991	8,777,152
未払利息	48	15
その他未払費用	43,853	47,388
流動負債合計	144,990,961	24,425,630
負債合計	144,990,961	24,425,630
純資産の部		
元本等		
元本	3,626,228,374	3,978,965,491
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ()	581,270,351	495,286,407
(分配準備積立金)	103,401,475	87,897,949
元本等合計	4,207,498,725	4,474,251,898
純資産合計	4,207,498,725	4,474,251,898
負債純資産合計	4,352,489,686	4,498,677,528

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日
営業収益		
有価証券売買等損益	164,616,505	117,339,055
営業収益合計	164,616,505	117,339,055
営業費用		
支払利息	10,996	5,791
受託者報酬	1,228,112	1,439,497
委託者報酬	15,146,591	17,753,621
その他費用	81,756	95,851
営業費用合計	16,467,455	19,294,760
営業利益又は営業損失（ ）	148,149,050	136,633,815
経常利益又は経常損失（ ）	148,149,050	136,633,815
当期純利益又は当期純損失（ ）	148,149,050	136,633,815
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	38,280,651	29,717,849
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	370,317,032	581,270,351
剰余金増加額又は欠損金減少額	369,466,058	293,583,752
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	369,466,058	290,330,881
当期併合に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	3,252,871
剰余金減少額又は欠損金増加額	268,381,138	272,651,730
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	268,381,138	272,651,730
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	581,270,351	495,286,407

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２．費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４．その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2019年 9月 7日から2020年 9月 7日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第9期 2019年 9月 6日現在	第10期 2020年 9月 7日現在
１． 計算期間の末日における受益権の総数 3,626,228,374口	１． 計算期間の末日における受益権の総数 3,978,965,491口
２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1603円 (10,000口当たり純資産額) (11,603円)	２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1245円 (10,000口当たり純資産額) (11,245円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>29,129,493円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>62,024,430円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>477,868,876円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>12,247,552円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>581,270,351円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,626,228,374口</td></tr><tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>1,602円</td></tr><tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>0円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>0円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	29,129,493円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	62,024,430円	収益調整金額	C	477,868,876円	分配準備積立金額	D	12,247,552円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	581,270,351円	当ファンドの期末残存口数	F	3,626,228,374口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	1,602円	10,000口当たり分配金額	H	0円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	0円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>16,789,111円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>0円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>407,388,458円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>71,108,838円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>495,286,407円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>3,978,965,491口</td></tr><tr><td>10,000口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F×10,000</td><td>1,244円</td></tr><tr><td>10,000口当たり分配金額</td><td>H</td><td>0円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F×H/10,000</td><td>0円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	16,789,111円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	407,388,458円	分配準備積立金額	D	71,108,838円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	495,286,407円	当ファンドの期末残存口数	F	3,978,965,491口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	1,244円	10,000口当たり分配金額	H	0円	収益分配金金額	I=F×H/10,000	0円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	29,129,493円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	62,024,430円																																																											
収益調整金額	C	477,868,876円																																																											
分配準備積立金額	D	12,247,552円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	581,270,351円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,626,228,374口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	1,602円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	0円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	0円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	16,789,111円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	407,388,458円																																																											
分配準備積立金額	D	71,108,838円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	495,286,407円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,978,965,491口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	1,244円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	0円																																																											
収益分配金金額	I=F×H/10,000	0円																																																											

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。 2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。 3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	1.金融商品に対する取組方針 同左 2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左 3.金融商品に係るリスク管理体制 同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第9期 2019年 9月 6日現在	第10期 2020年 9月 7日現在
1.貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2.時価の算定方法	1.貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2.時価の算定方法

親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
---	----

（関連当事者との取引に関する注記）

第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日
期首元本額 3,183,107,998円	期首元本額 3,626,228,374円
期中追加設定元本額 2,654,308,113円	期中追加設定元本額 2,066,808,229円
期中一部解約元本額 2,211,187,737円	期中一部解約元本額 1,738,619,374円
	併合による増加元本額 24,548,262円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第9期 自 2018年 9月 7日 至 2019年 9月 6日	第10期 自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	143,619,030	84,648,775
合計	143,619,030	84,648,775

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

4 ファンド併合

第10期

自 2019年 9月 7日

至 2020年 9月 7日

委託会社は、当ファンド及び「野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）」を対象として、当ファンドを存続ファンドとする、投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定するファンドの併合を行いました。

1. 取引の概要

(1) 併合の対象となったファンドの名称、目的及び基本的性格

併合対象ファンドの名称：

野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）（以下「併合対象ファンド」）

ファンドの目的及び基本的性格：

「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行なう。

(2) ファンド併合日

2020年5月27日

(3) ファンド併合後存続ファンドの名称

「野村インデックスファンド・国内債券」

(4) ファンド併合の形式

併合対象ファンドを消滅ファンドとした吸収併合

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当ファンドおよび併合対象ファンドは、実質的に同様の運用方針をもち、共通の主要投資対象である「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を通じて、投資信託財産の内容も実質的に同一となっております。運用資産規模の拡大を図ることが受益者の利益に資すると考えられることから、当ファンド併合を実施いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

投資信託財産計算規則第22条に基づき、ファンド併合前の併合対象ファンドの純資産の部の各項目を引き継ぎ、ファンド併合時の当ファンドの元本の額はファンド併合時の口数に1円を乗じた額とし、併合対象ファンドと当ファンドの併合直前に計上されていた元本の合計額との差額は期末剰余金に加減しています。

3. 併合対象ファンドの受益者に交付した受益権口数の割当比率及びその算定方法並びに交付受益権口数

(1) 受益権口数の割当比率

	当ファンド	併合対象ファンド
割当比率	1	1.1140105647

(2) 算定方法

ファンド併合にあたって、併合対象ファンドの受益者に対しては、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定に従い、その受益者に帰属していた併合対象ファンドの受益権口数に信託約款第7条の2に規定する割当比率を乗じて得たこのファンドの受益権口数を交付しております。ただし、計算上1口に満たない端数があるときは、当該端数口数は1口に切り上げるものとしております。

なお、割当比率は、2020年5月26日現在の当ファンドおよび併合対象ファンドの純資産総額および受益権口数に基づき、信託約款第7条の2に規定する以下の計算式により算出いたしました。

割当比率＝（併合対象ファンドの純資産総額÷併合対象ファンドの受益権口数）÷（当ファンドの純資産総額÷当ファンドの受益権口数）

(3) 交付した受益権口数

24,548,262口

4. ファンド併合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 27,801,133円

資産合計 27,801,133円

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2020年9月7日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2020年9月7日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	日本円	国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド	3,373,655,565	4,473,804,644	
	小計	銘柄数: 1 組入時価比率: 100.0%	3,373,655,565	4,473,804,644 100.0%	
	合計			4,473,804,644	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、「国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

(2020年 9月 7日現在)

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	8,857,650,686
国債証券	546,249,675,190
地方債証券	49,366,579,560
特殊債証券	59,780,167,191
社債証券	30,325,814,550
未収利息	1,837,019,088
前払費用	56,061,786
流動資産合計	696,472,968,051
資産合計	696,472,968,051
負債の部	
流動負債	
未払解約金	406,401,538
未払利息	12,628
流動負債合計	406,414,166
負債合計	406,414,166
純資産の部	
元本等	
元本	524,917,125,574

(2020年 9月 7日現在)

剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	171,149,428,311
元本等合計	696,066,553,885
純資産合計	696,066,553,885
負債純資産合計	696,472,968,051

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

2020年 9月 7日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.3261円
(10,000口当たり純資産額)	(13,261円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 2019年 9月 7日 至 2020年 9月 7日	
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。 これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。
3.金融商品に係るリスク管理体制	

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

○市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

○信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

○流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

2020年 9月 7日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ	
ん。	
2. 時価の算定方法	
国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており	
ます。	

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2020年 9月 7日現在	
期首	2019年 9月 7日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	485,418,655,642円
同期中における追加設定元本額	119,779,371,640円
同期中における一部解約元本額	80,280,901,708円
期末元本額	524,917,125,574円
期末元本額の内訳＊	
野村国内債券インデックスファンド	445,941,995円
野村世界6資産分散投信（安定コース）	40,045,922,632円
野村世界6資産分散投信（分配コース）	17,435,914,349円
野村世界6資産分散投信（成長コース）	2,851,536,385円
野村資産設計ファンド2015	350,010,194円
野村資産設計ファンド2020	350,096,748円
野村資産設計ファンド2025	316,903,731円
野村資産設計ファンド2030	240,773,202円
野村資産設計ファンド2035	120,291,002円
野村資産設計ファンド2040	175,571,800円
野村日本債券インデックスファンド	895,992,845円
野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）	153,888,056,847円
のむラップ・ファンド（保守型）	12,737,743,342円
のむラップ・ファンド（普通型）	9,099,253,541円

のむラップ・ファンド（積極型）	1,250,005,450円
野村日本債券インデックス（野村SMA向け）	10,824,619,479円
野村資産設計ファンド2045	16,943,618円
野村円債投資インデックスファンド	1,024,546,170円
野村インデックスファンド・国内債券	3,373,655,565円
マイ・ロード	34,301,286,700円
野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	1,277,909,531円
野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）	15,638,215,622円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	1,810,946,081円
野村資産設計ファンド2050	21,648,753円
野村ターゲットデートファンド2016 2026 - 2028年目標型	21,000,797円
野村ターゲットデートファンド2016 2029 - 2031年目標型	5,788,878円
野村ターゲットデートファンド2016 2032 - 2034年目標型	3,432,993円
野村ターゲットデートファンド2016 2035 - 2037年目標型	1,877,102円
のむラップ・ファンド（やや保守型）	832,460,994円
のむラップ・ファンド（やや積極型）	241,138,653円
インデックス・ブレンド（タイプ ）	55,206,753円
インデックス・ブレンド（タイプ ）	29,524,847円
インデックス・ブレンド（タイプ ）	74,822,270円
インデックス・ブレンド（タイプ ）	13,431,987円
インデックス・ブレンド（タイプ ）	12,558,430円
野村6資産均等バランス	1,875,249,462円
世界6資産分散ファンド	132,823,222円
野村資産設計ファンド2060	5,860,296円
NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA - BPI 総合連動型上場投信	2,062,393,334円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）債券・安定型	14,433,028,355円
グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	614,399,821円
グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	133,841,998円
グローバル・インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	2,010,014,985円
グローバル・インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	1,413,415,962円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）	19,959,719円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用）	10,475,755円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）	444,709円
野村インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	3,543,072,011円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA（適格機関投資家専用）	11,415,105円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	88,658,024円
野村世界インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	77,088,187円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	340,972,844円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	328,352,390円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA（適格機関投資家専用）	825,045,278円
野村世界バランス25VA（適格機関投資家専用）	189,504,979円
ノムラ日本債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	288,507,292円
ノムラFOFs用インデックスファンド・国内債券（適格機関投資家専用）	3,249,081,271円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2%コース向け）（適格機関投資家専用）	6,828,846円
マイバランス30（確定拠出年金向け）	34,466,000,883円
マイバランス50（確定拠出年金向け）	43,151,271,998円
マイバランス70（確定拠出年金向け）	15,560,542,909円

野村国内債券インデックスファンド・NOMURA - B P I 総合（確定拠出年金向け）	49,960,542,430円
マイバランスDC30	11,603,169,050円
マイバランスDC50	8,952,597,215円
マイバランスDC70	2,836,658,341円
野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA - B P I 総合	12,695,187,476円
マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	733,866,933円
マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	1,714,511,804円
マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	757,995,138円
野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	117,756,507円
野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	18,797,114円
野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	18,265,337円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	28,385,576円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	9,894,778円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	4,605,594円
マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	458,559,104円
マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	230,053,398円
マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	70,435,068円
マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	80,969,006円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	1,596,784円

* は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2020年9月7日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2020年9月7日現在)

（単位：円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	日本円	国庫債券 利付（2年）第406回	3,800,000,000	3,810,906,000	
		国庫債券 利付（2年）第413回	500,000,000	502,250,000	
		国庫債券 利付（5年）第130回	7,500,000,000	7,523,100,000	
		国庫債券 利付（5年）第131回	5,300,000,000	5,319,451,000	
		国庫債券 利付（5年）第132回	3,000,000,000	3,012,570,000	
		国庫債券 利付（5年）第133回	6,200,000,000	6,229,016,000	
		国庫債券 利付（5年）第134回	3,000,000,000	3,015,420,000	
		国庫債券 利付（5年）第135回	3,500,000,000	3,519,950,000	
		国庫債券 利付（5年）第136回	3,300,000,000	3,320,691,000	
		国庫債券 利付（5年）第137回	4,000,000,000	4,027,360,000	
		国庫債券 利付（5年）第138回	4,900,000,000	4,935,476,000	
		国庫債券 利付（5年）第139回	4,400,000,000	4,434,276,000	

国庫債券	利付（５年）第１４０回	3,400,000,000	3,428,390,000	
国庫債券	利付（５年）第１４１回	4,500,000,000	4,540,095,000	
国庫債券	利付（５年）第１４３回	4,970,000,000	5,015,177,300	
国庫債券	利付（５年）第１４４回	4,500,000,000	4,539,960,000	
国庫債券	利付（４０年）第１回	2,360,000,000	3,457,588,800	
国庫債券	利付（４０年）第２回	900,000,000	1,280,394,000	
国庫債券	利付（４０年）第３回	900,000,000	1,287,036,000	
国庫債券	利付（４０年）第４回	1,130,000,000	1,625,866,600	
国庫債券	利付（４０年）第５回	1,200,000,000	1,672,020,000	
国庫債券	利付（４０年）第６回	1,300,000,000	1,786,707,000	
国庫債券	利付（４０年）第７回	1,400,000,000	1,853,138,000	
国庫債券	利付（４０年）第８回	1,500,000,000	1,859,175,000	
国庫債券	利付（４０年）第９回	2,050,000,000	1,902,072,000	
国庫債券	利付（４０年）第１０回	2,010,000,000	2,187,382,500	
国庫債券	利付（４０年）第１１回	1,750,000,000	1,848,700,000	
国庫債券	利付（４０年）第１２回	2,070,000,000	1,977,367,500	
国庫債券	利付（４０年）第１３回	1,900,000,000	1,813,208,000	
国庫債券	利付（１０年）第３１９回	1,850,000,000	1,879,452,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２０回	3,500,000,000	3,551,240,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２１回	3,200,000,000	3,255,872,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２２回	2,400,000,000	2,438,232,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２３回	1,700,000,000	1,731,552,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２４回	3,200,000,000	3,253,696,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２５回	4,400,000,000	4,483,380,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２６回	2,100,000,000	2,139,648,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２７回	3,100,000,000	3,165,627,000	
国庫債券	利付（１０年）第３２８回	5,250,000,000	5,346,547,500	
国庫債券	利付（１０年）第３２９回	6,000,000,000	6,153,960,000	
国庫債券	利付（１０年）第３３０回	3,800,000,000	3,906,400,000	
国庫債券	利付（１０年）第３３１回	1,900,000,000	1,941,629,000	
国庫債券	利付（１０年）第３３２回	5,400,000,000	5,528,088,000	
国庫債券	利付（１０年）第３３３回	3,600,000,000	3,691,836,000	
国庫債券	利付（１０年）第３３４回	6,600,000,000	6,780,444,000	

国庫債券 利付（１０年）第３３５回	4,600,000,000	4,715,552,000	
国庫債券 利付（１０年）第３３６回	1,450,000,000	1,488,048,000	
国庫債券 利付（１０年）第３３７回	3,700,000,000	3,765,268,000	
国庫債券 利付（１０年）第３３８回	5,000,000,000	5,113,700,000	
国庫債券 利付（１０年）第３３９回	5,000,000,000	5,117,600,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４０回	3,800,000,000	3,894,126,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４１回	5,300,000,000	5,408,226,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４２回	2,750,000,000	2,778,242,500	
国庫債券 利付（１０年）第３４３回	5,900,000,000	5,963,366,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４４回	5,800,000,000	5,865,018,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４５回	5,000,000,000	5,056,800,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４６回	4,900,000,000	4,957,869,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４７回	5,400,000,000	5,464,368,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４８回	4,600,000,000	4,655,246,000	
国庫債券 利付（１０年）第３４９回	5,300,000,000	5,363,971,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５０回	5,850,000,000	5,918,503,500	
国庫債券 利付（１０年）第３５１回	5,600,000,000	5,663,392,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５２回	6,600,000,000	6,671,742,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５３回	5,100,000,000	5,152,887,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５４回	4,350,000,000	4,392,717,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５５回	5,100,000,000	5,147,022,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５６回	4,800,000,000	4,838,976,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５７回	1,900,000,000	1,914,079,000	
国庫債券 利付（１０年）第３５８回	5,470,000,000	5,506,375,500	
国庫債券 利付（１０年）第３５９回	4,900,000,000	4,928,616,000	
国庫債券 利付（３０年）第１回	500,000,000	625,330,000	
国庫債券 利付（３０年）第２回	500,000,000	611,975,000	

国庫債券	利付（３０年）第３回	160,000,000	195,017,600
国庫債券	利付（３０年）第４回	900,000,000	1,158,534,000
国庫債券	利付（３０年）第５回	150,000,000	183,625,500
国庫債券	利付（３０年）第６回	600,000,000	752,010,000
国庫債券	利付（３０年）第７回	600,000,000	749,994,000
国庫債券	利付（３０年）第８回	100,000,000	119,705,000
国庫債券	利付（３０年）第９回	265,000,000	304,397,550
国庫債券	利付（３０年）第１０回	250,000,000	278,350,000
国庫債券	利付（３０年）第１１回	160,000,000	190,382,400
国庫債券	利付（３０年）第１２回	220,000,000	273,614,000
国庫債券	利付（３０年）第１３回	290,000,000	357,770,100
国庫債券	利付（３０年）第１４回	800,000,000	1,031,832,000
国庫債券	利付（３０年）第１５回	900,000,000	1,176,030,000
国庫債券	利付（３０年）第１６回	915,000,000	1,198,979,400
国庫債券	利付（３０年）第１７回	1,200,000,000	1,560,072,000
国庫債券	利付（３０年）第１８回	1,500,000,000	1,933,800,000
国庫債券	利付（３０年）第１９回	2,050,000,000	2,649,010,000
国庫債券	利付（３０年）第２０回	1,270,000,000	1,681,568,900
国庫債券	利付（３０年）第２１回	1,400,000,000	1,817,102,000
国庫債券	利付（３０年）第２２回	600,000,000	798,816,000
国庫債券	利付（３０年）第２３回	840,000,000	1,120,980,000
国庫債券	利付（３０年）第２４回	700,000,000	937,006,000
国庫債券	利付（３０年）第２５回	500,000,000	654,730,000
国庫債券	利付（３０年）第２６回	850,000,000	1,129,318,500
国庫債券	利付（３０年）第２７回	1,550,000,000	2,095,786,000
国庫債券	利付（３０年）第２８回	1,200,000,000	1,630,128,000
国庫債券	利付（３０年）第２９回	1,500,000,000	2,021,580,000
国庫債券	利付（３０年）第３０回	1,700,000,000	2,272,866,000
国庫債券	利付（３０年）第３１回	1,200,000,000	1,591,872,000
国庫債券	利付（３０年）第３２回	1,200,000,000	1,621,800,000
国庫債券	利付（３０年）第３３回	2,400,000,000	3,120,864,000
国庫債券	利付（３０年）第３４回	2,100,000,000	2,822,442,000
国庫債券	利付（３０年）第３５回	2,300,000,000	3,011,022,000
国庫債券	利付（３０年）第３６回	2,300,000,000	3,020,452,000
国庫債券	利付（３０年）第３７回	2,300,000,000	2,983,445,000
国庫債券	利付（３０年）第３８回	1,600,000,000	2,048,112,000
国庫債券	利付（３０年）第３９回	1,600,000,000	2,085,824,000
国庫債券	利付（３０年）第４０回	1,300,000,000	1,669,746,000
国庫債券	利付（３０年）第４１回	1,500,000,000	1,897,140,000
国庫債券	利付（３０年）第４２回	1,600,000,000	2,025,520,000
国庫債券	利付（３０年）第４３回	1,300,000,000	1,647,308,000
国庫債券	利付（３０年）第４４回	1,400,000,000	1,775,676,000
国庫債券	利付（３０年）第４５回	1,700,000,000	2,081,616,000

国庫債券	利付（３０年）第４６回	1,800,000,000	2,205,324,000	
国庫債券	利付（３０年）第４７回	1,700,000,000	2,124,014,000	
国庫債券	利付（３０年）第４８回	1,900,000,000	2,285,529,000	
国庫債券	利付（３０年）第４９回	1,900,000,000	2,286,365,000	
国庫債券	利付（３０年）第５０回	1,600,000,000	1,699,040,000	
国庫債券	利付（３０年）第５１回	2,650,000,000	2,494,763,000	
国庫債券	利付（３０年）第５２回	1,900,000,000	1,878,359,000	
国庫債券	利付（３０年）第５３回	1,700,000,000	1,719,516,000	
国庫債券	利付（３０年）第５４回	1,700,000,000	1,802,561,000	
国庫債券	利付（３０年）第５５回	1,500,000,000	1,589,385,000	
国庫債券	利付（３０年）第５６回	1,900,000,000	2,011,777,000	
国庫債券	利付（３０年）第５７回	1,600,000,000	1,692,880,000	
国庫債券	利付（３０年）第５８回	2,100,000,000	2,222,850,000	
国庫債券	利付（３０年）第５９回	1,600,000,000	1,651,856,000	
国庫債券	利付（３０年）第６０回	1,150,000,000	1,244,725,500	
国庫債券	利付（３０年）第６１回	1,000,000,000	1,029,150,000	
国庫債券	利付（３０年）第６２回	500,000,000	488,415,000	
国庫債券	利付（３０年）第６３回	1,400,000,000	1,328,012,000	
国庫債券	利付（３０年）第６４回	1,500,000,000	1,420,545,000	
国庫債券	利付（３０年）第６５回	1,200,000,000	1,134,564,000	
国庫債券	利付（３０年）第６６回	3,000,000,000	2,831,730,000	
国庫債券	利付（３０年）第６７回	1,300,000,000	1,293,461,000	
国庫債券	利付（２０年）第５３回	250,000,000	257,192,500	
国庫債券	利付（２０年）第５４回	100,000,000	103,005,000	
国庫債券	利付（２０年）第５５回	231,000,000	238,586,040	
国庫債券	利付（２０年）第５６回	120,000,000	124,573,200	
国庫債券	利付（２０年）第５７回	210,000,000	217,627,200	
国庫債券	利付（２０年）第５８回	180,000,000	187,446,600	
国庫債券	利付（２０年）第５９回	230,000,000	239,604,800	
国庫債券	利付（２０年）第６０回	780,000,000	807,222,000	
国庫債券	利付（２０年）第６１回	300,000,000	308,559,000	
国庫債券	利付（２０年）第６２回	440,000,000	451,290,400	
国庫債券	利付（２０年）第６３回	300,000,000	316,071,000	
国庫債券	利付（２０年）第６４回	400,000,000	424,592,000	
国庫債券	利付（２０年）第６５回	455,000,000	485,202,900	
国庫債券	利付（２０年）第６６回	300,000,000	318,927,000	
国庫債券	利付（２０年）第６７回	310,000,000	332,130,900	
国庫債券	利付（２０年）第６８回	290,000,000	313,785,800	
国庫債券	利付（２０年）第６９回	560,000,000	603,948,800	
国庫債券	利付（２０年）第７０回	540,000,000	591,570,000	
国庫債券	利付（２０年）第７１回	200,000,000	217,580,000	
国庫債券	利付（２０年）第７２回	1,470,000,000	1,601,917,800	

国庫債券	利付（２０年）第７３回	1,600,000,000	1,745,248,000
国庫債券	利付（２０年）第７４回	900,000,000	985,572,000
国庫債券	利付（２０年）第７５回	600,000,000	660,048,000
国庫債券	利付（２０年）第７６回	910,000,000	992,791,800
国庫債券	利付（２０年）第７７回	700,000,000	766,871,000
国庫債券	利付（２０年）第７８回	800,000,000	876,224,000
国庫債券	利付（２０年）第７９回	860,000,000	946,068,800
国庫債券	利付（２０年）第８０回	1,400,000,000	1,546,832,000
国庫債券	利付（２０年）第８１回	360,000,000	397,936,800
国庫債券	利付（２０年）第８２回	820,000,000	910,560,800
国庫債券	利付（２０年）第８３回	1,370,000,000	1,528,426,800
国庫債券	利付（２０年）第８４回	1,200,000,000	1,332,396,000
国庫債券	利付（２０年）第８５回	400,000,000	448,424,000
国庫債券	利付（２０年）第８６回	1,400,000,000	1,585,024,000
国庫債券	利付（２０年）第８７回	500,000,000	563,305,000
国庫債券	利付（２０年）第８８回	1,100,000,000	1,252,042,000
国庫債券	利付（２０年）第８９回	470,000,000	532,232,700
国庫債券	利付（２０年）第９０回	1,500,000,000	1,707,315,000
国庫債券	利付（２０年）第９１回	250,000,000	286,067,500
国庫債券	利付（２０年）第９２回	650,000,000	739,232,000
国庫債券	利付（２０年）第９３回	300,000,000	340,839,000
国庫債券	利付（２０年）第９４回	200,000,000	228,538,000
国庫債券	利付（２０年）第９５回	100,000,000	116,147,000
国庫債券	利付（２０年）第９６回	400,000,000	459,136,000
国庫債券	利付（２０年）第９７回	300,000,000	348,006,000
国庫債券	利付（２０年）第９８回	300,000,000	345,888,000
国庫債券	利付（２０年）第９９回	2,100,000,000	2,431,758,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１００回	1,520,000,000	1,778,445,600
国庫債券 回	利付（２０年）第１０１回	250,000,000	296,287,500
国庫債券 回	利付（２０年）第１０２回	500,000,000	595,220,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０３回	600,000,000	709,578,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０４回	400,000,000	466,808,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０５回	1,900,000,000	2,225,869,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０６回	400,000,000	471,824,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０７回	300,000,000	352,908,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０８回	1,600,000,000	1,855,616,000
国庫債券 回	利付（２０年）第１０９回	900,000,000	1,047,177,000

国庫債券 利付（２０年）第１１０回	1,100,000,000	1,298,671,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１１回	800,000,000	954,960,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１２回	1,800,000,000	2,132,838,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１３回	2,000,000,000	2,377,220,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１４回	1,700,000,000	2,027,607,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１５回	1,000,000,000	1,201,970,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１６回	1,100,000,000	1,326,798,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１７回	1,400,000,000	1,675,352,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１８回	500,000,000	595,475,000	
国庫債券 利付（２０年）第１１９回	800,000,000	937,176,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２０回	800,000,000	921,584,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２１回	1,200,000,000	1,420,908,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２２回	900,000,000	1,056,699,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２３回	1,500,000,000	1,810,845,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２４回	1,000,000,000	1,197,020,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２５回	900,000,000	1,099,206,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２６回	1,000,000,000	1,200,460,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２７回	1,200,000,000	1,428,024,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２８回	1,800,000,000	2,147,850,000	
国庫債券 利付（２０年）第１２９回	1,400,000,000	1,655,612,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３０回	1,400,000,000	1,658,804,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３１回	800,000,000	939,160,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３２回	1,300,000,000	1,529,489,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３３回	1,400,000,000	1,662,738,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３４回	1,400,000,000	1,666,504,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３５回	700,000,000	825,293,000	
	700,000,000	817,341,000	

国庫債券 利付（２０年）第１３６回			
国庫債券 利付（２０年）第１３７回	1,000,000,000	1,180,790,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３８回	800,000,000	926,088,000	
国庫債券 利付（２０年）第１３９回	1,000,000,000	1,169,200,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４０回	2,300,000,000	2,721,360,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４１回	2,600,000,000	3,082,300,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４２回	950,000,000	1,137,663,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４３回	1,300,000,000	1,528,046,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４４回	1,300,000,000	1,512,095,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４５回	2,300,000,000	2,736,747,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４６回	2,400,000,000	2,860,896,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４７回	4,200,000,000	4,960,746,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４８回	2,100,000,000	2,456,349,000	
国庫債券 利付（２０年）第１４９回	3,850,000,000	4,509,120,000	
国庫債券 利付（２０年）第１５０回	3,330,000,000	3,859,636,500	
国庫債券 利付（２０年）第１５１回	2,500,000,000	2,829,450,000	
国庫債券 利付（２０年）第１５２回	2,650,000,000	3,000,833,500	
国庫債券 利付（２０年）第１５３回	1,600,000,000	1,835,536,000	
国庫債券 利付（２０年）第１５４回	1,220,000,000	1,381,906,200	
国庫債券 利付（２０年）第１５５回	3,600,000,000	3,974,004,000	
国庫債券 利付（２０年）第１５６回	2,650,000,000	2,685,324,500	
国庫債券 利付（２０年）第１５７回	3,190,000,000	3,130,123,700	
国庫債券 利付（２０年）第１５８回	2,100,000,000	2,155,986,000	
国庫債券 利付（２０年）第１５９回	2,000,000,000	2,081,820,000	
国庫債券 利付（２０年）第１６０回	2,300,000,000	2,429,559,000	
国庫債券 利付（２０年）第１６１回	2,100,000,000	2,183,202,000	
	1,700,000,000	1,765,467,000	

		国庫債券 利付（２０年）第１６２回			
		国庫債券 利付（２０年）第１６３回	2,750,000,000	2,852,740,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６４回	2,600,000,000	2,651,272,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６５回	2,200,000,000	2,240,238,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６６回	2,300,000,000	2,420,106,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６７回	2,600,000,000	2,644,278,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６８回	2,700,000,000	2,695,329,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１６９回	2,530,000,000	2,479,298,800	
		国庫債券 利付（２０年）第１７０回	2,000,000,000	1,957,700,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１７１回	1,300,000,000	1,271,036,000	
		国庫債券 利付（２０年）第１７２回	3,840,000,000	3,822,681,600	
		国庫債券 利付（２０年）第１７３回	3,400,000,000	3,381,402,000	
		メキシコ合衆国 第２５回円貨社債（２０１８）	100,000,000	98,217,000	
	小計	銘柄数：259	504,466,000,000	546,249,675,190	
		組入時価比率：78.5%		79.7%	
	合計			546,249,675,190	
地方債証券	日本円	東京都 公募第７０３回	100,000,000	101,246,000	
		東京都 公募第７０７回	100,000,000	101,296,000	
		東京都 公募第７０８回	100,000,000	101,551,000	
		東京都 公募第７１０回	100,000,000	101,408,000	
		東京都 公募第７１２回	100,000,000	101,526,000	
		東京都 公募第７１５回	100,000,000	101,690,000	
		東京都 公募第７１６回	200,000,000	203,424,000	
		東京都 公募第７３１回	100,000,000	102,168,000	
		東京都 公募第７３６回	100,000,000	101,955,000	
		東京都 公募第７４５回	300,000,000	307,353,000	
		東京都 公募第７６０回	100,000,000	99,879,000	
		東京都 公募第７６１回	100,000,000	100,059,000	
		東京都 公募第７６９回	500,000,000	504,550,000	
		東京都 公募第７７８回	100,000,000	100,599,000	
		東京都 公募（３０年）第７回	100,000,000	135,036,000	
		東京都 公募第１０回	200,000,000	266,478,000	
		東京都 公募第１回	300,000,000	312,678,000	
		東京都 公募（２０年）第３回	200,000,000	215,798,000	
		東京都 公募第７回	100,000,000	110,759,000	

東京都	公募（２０年）第１３回	100,000,000	115,036,000	
東京都	公募（２０年）第１６回	200,000,000	231,298,000	
東京都	公募（２０年）第１７回	200,000,000	232,612,000	
東京都	公募第２３回	100,000,000	119,643,000	
東京都	公募（２０年）第２６回	100,000,000	117,248,000	
北海道	公募平成２４年度第６回	100,000,000	101,583,000	
北海道	公募平成２４年度第９回	100,000,000	101,609,000	
北海道	公募平成２５年度第１回	300,000,000	304,257,000	
北海道	公募平成２６年度第１３回	100,000,000	101,807,000	
北海道	公募平成２７年度第７回	100,000,000	102,426,000	
北海道	公募平成２８年度第１３回	200,000,000	199,942,000	
北海道	公募平成２９年度第５回	200,000,000	201,150,000	
北海道	公募平成２９年度第６回	700,000,000	699,601,000	
北海道	公募平成２９年度第７回	100,000,000	100,832,000	
北海道	公募平成２９年度第９回	100,000,000	100,779,000	
宮城県	公募第３２回２号	100,000,000	100,241,000	
神奈川県	公募第１８８回	200,000,000	203,142,000	
神奈川県	公募第１９６回	100,000,000	101,664,000	
神奈川県	公募第２００回	100,000,000	102,442,000	
神奈川県	公募第２０５回	100,000,000	102,271,000	
神奈川県	公募第２０６回	100,000,000	102,397,000	
神奈川県	公募第２１０回	200,000,000	203,690,000	
神奈川県	公募第２３１回	200,000,000	202,100,000	
神奈川県	公募（３０年）第３回	100,000,000	134,742,000	
神奈川県	公募第７回	300,000,000	342,036,000	
神奈川県	公募（２０年）第１４回	100,000,000	117,795,000	
神奈川県	公募（２０年）第１７回	200,000,000	237,792,000	
神奈川県	公募（２０年）第２６回	100,000,000	115,277,000	
大阪府	公募第３５６回	100,000,000	101,336,000	
大阪府	公募第３７８回	104,000,000	106,226,640	
大阪府	公募第３８１回	100,000,000	102,248,000	
大阪府	公募第３８２回	100,000,000	102,267,000	
大阪府	公募第３８３回	100,000,000	102,394,000	
大阪府	公募第３８４回	100,000,000	102,361,000	
大阪府	公募第３８７回	300,000,000	305,784,000	
大阪府	公募第３８９回	100,000,000	102,048,000	
大阪府	公募第３９６回	200,000,000	204,892,000	
大阪府	公募第４１７回	102,000,000	103,102,620	
大阪府	公募第４２３回	100,000,000	100,728,000	
大阪府	公募第４２９回	179,000,000	180,369,350	
大阪府	公募第４５２回	100,000,000	99,046,000	
大阪府	公募第５回	100,000,000	119,318,000	

大阪府 公募第 8 回	100,000,000	117,740,000
大阪府 公募（ 5 年）第 1 3 7 回	1,024,000,000	1,023,426,560
大阪府 公募（ 5 年）第 1 4 1 回	230,000,000	229,843,600
京都府 公募平成 2 4 年度第 2 回	100,000,000	101,587,000
京都府 公募平成 2 4 年度第 6 回	100,000,000	101,653,000
京都府 公募平成 2 5 年度第 1 5 回	200,000,000	204,512,000
京都府 公募平成 2 6 年度第 5 回	100,000,000	115,047,000
京都府 公募平成 2 6 年度第 7 回	200,000,000	204,384,000
京都府 公募（ 2 0 年）平成 2 7 年度第 5 回	200,000,000	224,518,000
京都府 公募（ 1 5 年）平成 2 7 年度第 8 回	100,000,000	106,047,000
京都府 公募（ 2 0 年）平成 2 8 年度第 5 回	100,000,000	98,534,000
京都府 公募平成 2 9 年度第 4 回	100,000,000	100,776,000
兵庫県 公募平成 2 6 年度第 1 7 回	100,000,000	101,897,000
兵庫県 公募平成 2 9 年度第 2 2 回	100,000,000	100,719,000
兵庫県 公募（ 3 0 年）第 2 回	200,000,000	269,344,000
兵庫県 公募（ 1 5 年）第 1 回	300,000,000	327,888,000
兵庫県 公募（ 1 5 年）第 3 回	200,000,000	217,244,000
兵庫県 公募（ 1 2 年）第 3 回	300,000,000	307,242,000
兵庫県 公募（ 1 5 年）第 1 1 回	100,000,000	105,415,000
兵庫県 公募第 2 回	100,000,000	115,964,000
兵庫県 公募第 9 回	100,000,000	119,114,000
兵庫県 公募（ 2 0 年）第 1 1 回	200,000,000	232,988,000
兵庫県 公募（ 2 0 年）第 1 4 回	100,000,000	116,854,000
兵庫県 公募（ 2 0 年）第 2 2 回	100,000,000	114,235,000
静岡県 公募平成 2 4 年度第 5 回	100,060,000	101,606,927
静岡県 公募平成 2 4 年度第 1 0 回	100,000,000	101,668,000
静岡県 公募平成 2 5 年度第 5 回	101,000,000	103,631,050
静岡県 公募平成 2 6 年度第 3 回	165,000,000	169,039,200
静岡県 公募平成 2 6 年度第 8 回	100,000,000	102,201,000
静岡県 公募平成 2 6 年度第 9 回	200,000,000	204,404,000
静岡県 公募平成 2 7 年度第 1 1 回	115,400,000	115,685,038
静岡県 公募平成 2 8 年度第 2 回	300,000,000	300,246,000
静岡県 公募平成 2 9 年度第 3 回	100,000,000	100,649,000
静岡県 公募（ 3 1 年）第 1 回	174,000,000	173,631,120
静岡県 公募（ 1 5 年）第 5 回	200,000,000	215,946,000
静岡県 公募（ 1 5 年）第 9 回	100,000,000	105,662,000
静岡県 公募（ 2 0 年）第 1 1 回	100,000,000	116,666,000
静岡県 公募（ 2 0 年）第 1 4 回	200,000,000	234,404,000
静岡県 公募（ 2 0 年）第 1 8 回	100,000,000	115,279,000
愛知県 公募平成 2 0 年度第 8 回	100,000,000	115,896,000
愛知県 公募平成 2 3 年度第 1 9 回	100,000,000	101,455,000

愛知県 公募平成 2 4 年度第 2 回	100,000,000	101,573,000	
愛知県 公募（ 2 0 年 ）平成 2 4 年度第 4 回	100,000,000	116,613,000	
愛知県 公募平成 2 4 年度第 8 回	150,000,000	152,413,500	
愛知県 公募（ 1 5 年 ）平成 2 4 年度第 1 4 回	400,000,000	435,816,000	
愛知県 公募平成 2 4 年度第 1 7 回	100,000,000	118,877,000	
愛知県 公募（ 3 0 年 ）平成 2 5 年度第 8 回	120,000,000	155,660,400	
愛知県 公募平成 2 6 年度第 8 回	100,000,000	125,640,000	
愛知県 公募平成 2 6 年度第 1 3 回	100,000,000	113,919,000	
愛知県 公募（ 1 5 年 ）平成 2 7 年度第 2 回	100,000,000	105,703,000	
愛知県 公募平成 2 7 年度第 1 5 回	100,000,000	102,119,000	
愛知県 公募平成 2 9 年度第 8 回	100,000,000	100,833,000	
愛知県 公募平成 2 9 年度第 9 回	100,000,000	100,523,000	
広島県 公募平成 2 4 年度第 4 回	100,000,000	101,756,000	
広島県 公募平成 2 5 年度第 3 回	200,000,000	204,754,000	
広島県 公募平成 2 6 年度第 5 回	109,650,000	111,140,143	
広島県 公募平成 2 9 年度第 3 回	100,000,000	100,526,000	
広島県 公募平成 2 9 年度第 4 回	211,300,000	213,497,520	
埼玉県 公募平成 2 4 年度第 4 回	300,000,000	304,620,000	
埼玉県 公募平成 2 5 年度第 4 回	100,000,000	102,588,000	
埼玉県 公募平成 2 5 年度第 6 回	148,000,000	151,550,520	
埼玉県 公募平成 2 5 年度第 1 0 回	100,000,000	102,254,000	
埼玉県 公募平成 2 5 年度第 1 1 回	100,000,000	102,251,000	
埼玉県 公募平成 2 6 年度第 3 回	100,000,000	102,402,000	
埼玉県 公募平成 2 6 年度第 6 回	200,000,000	204,324,000	
埼玉県 公募平成 2 6 年度第 7 回	400,000,000	407,832,000	
埼玉県 公募平成 2 6 年度第 9 回	100,000,000	101,826,000	
埼玉県 公募平成 2 7 年度第 9 回	100,000,000	100,926,000	
埼玉県 公募平成 2 8 年度第 5 回	100,000,000	99,911,000	
埼玉県 公募平成 3 0 年度第 4 回	200,000,000	201,624,000	
埼玉県 公募平成 3 0 年度第 7 回	200,000,000	200,000,000	
埼玉県 公募（ 1 5 年 ）第 1 回	100,000,000	107,258,000	
埼玉県 公募（ 1 5 年 ）第 3 回	100,000,000	102,217,000	
埼玉県 公募（ 2 0 年 ）第 6 回	100,000,000	117,277,000	
埼玉県 公募（ 2 0 年 ）第 1 6 回	100,000,000	112,054,000	
埼玉県 公募（ 2 0 年 ）第 2 0 回	100,000,000	102,889,000	
福岡県 公募平成 2 3 年度第 5 回	100,000,000	101,131,000	
福岡県 公募平成 2 6 年度第 1 回	100,000,000	102,407,000	
福岡県 公募平成 2 7 年度第 1 回	300,000,000	308,025,000	
福岡県 公募平成 2 9 年度第 1 回	100,000,000	100,844,000	
福岡県 公募平成 2 3 年度第 1 回	100,000,000	108,804,000	

福岡県 公募（１５年）令和元年度第１回	100,000,000	98,867,000	
福岡県 公募（３０年）平成１９年度第１回	100,000,000	135,514,000	
福岡県 公募（３０年）平成２６年度第１回	100,000,000	125,912,000	
福岡県 公募（３０年・定時償還）平成２９年度第２回	100,000,000	106,542,000	
福岡県 公募（２０年）平成２０年度第２回	100,000,000	115,978,000	
福岡県 公募（２０年）平成２４年度第２回	100,000,000	116,186,000	
千葉県 公募平成２４年度第１回	100,000,000	101,678,000	
千葉県 公募平成２４年度第２回	100,000,000	101,523,000	
千葉県 公募平成２４年度第７回	100,000,000	101,648,000	
千葉県 公募平成２４年度第８回	100,000,000	101,953,000	
千葉県 公募平成２５年度第３回	100,000,000	102,424,000	
千葉県 公募平成２５年度第４回	100,000,000	102,588,000	
千葉県 公募平成２６年度第３回	200,000,000	204,580,000	
千葉県 公募平成２８年度第４回	200,000,000	200,240,000	
千葉県 公募平成２９年度第４回	100,000,000	100,525,000	
千葉県 公募平成２９年度第８回	100,000,000	100,861,000	
千葉県 公募（２０年）第１回	400,000,000	442,012,000	
千葉県 公募（２０年）第８回	100,000,000	119,468,000	
千葉県 公募（２０年）第１６回	200,000,000	232,500,000	
千葉県 公募（２０年）第１７回	100,000,000	114,447,000	
群馬県 公募第８回	100,000,000	101,228,000	
群馬県 公募第１２回	100,000,000	102,461,000	
群馬県 公募（２０年）第３回	100,000,000	116,666,000	
岐阜県 公募平成２６年度第１回	186,670,000	190,717,005	
大分県 公募平成２３年度第１回	902,000,000	912,084,360	
共同発行市場地方債 公募第１０３回	100,000,000	101,108,000	
共同発行市場地方債 公募第１０４回	200,000,000	202,456,000	
共同発行市場地方債 公募第１０８回	200,000,000	203,058,000	
共同発行市場地方債 公募第１１０回	200,000,000	202,978,000	
共同発行市場地方債 公募第１１１回	200,000,000	203,120,000	
共同発行市場地方債 公募第１１２回	100,000,000	101,540,000	
共同発行市場地方債 公募第１１３回	800,000,000	811,776,000	
共同発行市場地方債 公募第１１４回	243,700,000	247,677,184	
共同発行市場地方債 公募第１１５回	100,000,000	101,661,000	

共同発行市場地方債 公募第 1 1 6 回	200,000,000	203,456,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 1 8 回	100,000,000	101,953,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 1 9 回	200,000,000	203,844,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 0 回	300,000,000	305,028,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 1 回	100,000,000	101,444,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 2 回	400,000,000	406,496,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 4 回	300,000,000	307,677,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 6 回	100,000,000	102,407,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 8 回	700,000,000	714,385,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 2 9 回	100,000,000	102,274,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 3 0 回	100,000,000	102,502,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 3 2 回	100,000,000	102,267,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 3 6 回	200,000,000	204,580,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 3 7 回	200,000,000	204,318,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 3 9 回	155,000,000	158,352,650	
共同発行市場地方債 公募第 1 4 3 回	540,000,000	550,314,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 4 5 回	1,000,000,000	1,017,850,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 5 6 回	200,000,000	200,386,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 5 7 回	300,000,000	300,252,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 6 1 回	300,000,000	299,910,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 7 2 回	600,000,000	605,946,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 8 4 回	100,000,000	100,586,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 8 6 回	400,000,000	404,636,000	
共同発行市場地方債 公募第 1 9 0 回	610,000,000	612,275,300	
共同発行市場地方債 公募第 1 9 1 回	100,000,000	100,167,000	
堺市 公募平成 2 2 年度第 1 回	100,000,000	117,864,000	
堺市 公募平成 2 6 年度第 1 回	100,000,000	122,871,000	

島根県	公募平成28年度第3回	100,000,000	99,976,000
佐賀県	公募平成28年度第1回	100,000,000	100,061,000
福島県	公募平成26年度第1回	200,000,000	204,010,000
滋賀県	公募平成25年度第1回	100,000,000	102,032,000
滋賀県	公募平成26年度第1回	142,000,000	144,847,100
栃木県	公募平成24年度第1回	100,000,000	101,716,000
栃木県	公募平成25年度第1回	100,000,000	102,032,000
熊本市	公募平成29年度第1回	100,000,000	100,827,000
新潟市	公募平成25年度第1回	233,200,000	238,584,588
新潟市	公募平成29年度第1回	100,000,000	100,977,000
奈良県	公募平成28年度第1回	100,000,000	99,976,000
浜松市	公募平成26年度第1回	100,000,000	101,377,000
大阪市	公募平成25年度第6回	100,000,000	102,161,000
大阪市	公募平成26年度第5回	100,000,000	102,321,000
大阪市	公募（5年）平成28年度第5回	100,000,000	99,976,000
大阪市	公募（15年）第1回	100,000,000	109,851,000
大阪市	公募（20年）第1回	300,000,000	347,859,000
大阪市	公募（20年）第5回	100,000,000	118,953,000
大阪市	公募（20年）第6回	100,000,000	117,292,000
大阪市	公募（20年）第17回	100,000,000	117,540,000
名古屋市	公募第478回	100,000,000	101,591,000
名古屋市	公募第481回	100,000,000	101,653,000
名古屋市	公募第488回	300,000,000	306,990,000
名古屋市	公募第489回	100,000,000	101,888,000
名古屋市	公募第501回	100,000,000	100,702,000
名古屋市	公募第503回	100,000,000	100,899,000
名古屋市	公募第504回	200,000,000	201,698,000
名古屋市	公募（12年）第1回	200,000,000	209,682,000
名古屋市	公募（15年）第2回	100,000,000	106,943,000
京都市	公募平成23年度第4回	100,000,000	101,351,000
京都市	公募平成29年度第1回	100,000,000	100,900,000
京都市	公募平成29年度第4回	101,280,000	102,417,374
京都市	公募（20年）第2回	100,000,000	110,558,000
京都市	公募（20年）第5回	200,000,000	228,638,000
京都市	公募（20年）第6回	100,000,000	116,115,000
京都市	公募（20年）第13回	100,000,000	113,814,000
神戸市	公募平成26年度第17回	300,000,000	303,420,000
神戸市	公募平成28年度第1回	200,000,000	200,166,000
横浜市	公募公債平成24年度2回	200,000,000	203,352,000
横浜市	公募公債平成25年度1回	200,000,000	203,466,000
横浜市	公募公債平成25年度5回	200,000,000	204,054,000
横浜市	公募公債平成26年度5回	200,000,000	203,844,000

横浜市 公募平成 2 8 年度第 5 回	300,000,000	303,081,000
横浜市 公募平成 2 9 年度第 3 回	100,000,000	100,965,000
横浜市 公募（ 3 0 年）第 2 回	200,000,000	259,920,000
横浜市 公募（ 2 0 年）第 1 8 回	100,000,000	118,017,000
横浜市 公募（ 2 0 年）第 2 6 回	100,000,000	118,269,000
横浜市 公募（ 2 0 年）第 3 0 回	100,000,000	114,103,000
札幌市 公募（ 1 5 年）平成 2 3 年度第 9 回	200,000,000	218,228,000
札幌市 公募（ 2 0 年）平成 2 4 年度第 1 回	100,000,000	117,726,000
札幌市 公募（ 2 0 年）平成 2 4 年度第 1 1 回	100,000,000	118,531,000
札幌市 公募平成 2 6 年度第 4 回	100,000,000	101,966,000
札幌市 公募平成 2 6 年度第 9 回	200,000,000	203,510,000
川崎市 公募第 8 5 回	100,000,000	101,598,000
川崎市 公募（ 2 0 年）第 1 7 回	100,000,000	115,324,000
川崎市 公募（ 2 0 年）第 1 9 回	100,000,000	113,831,000
川崎市 公募（ 3 0 年）第 1 1 回	100,000,000	103,522,000
北九州市 公募（ 2 0 年）第 3 回	200,000,000	231,338,000
北九州市 公募（ 2 0 年）第 1 4 回	100,000,000	117,309,000
福岡市 公募（ 2 0 年）平成 2 1 年度第 3 回	200,000,000	235,886,000
福岡市 公募（ 2 0 年）平成 2 3 年度第 4 回	100,000,000	118,167,000
福岡市 公募平成 2 6 年度第 2 回	100,000,000	115,525,000
福岡市 公募平成 2 6 年度第 5 回	100,000,000	102,146,000
福岡市 公募平成 2 6 年度第 8 回	160,000,000	163,232,000
広島市 公募平成 2 6 年度第 2 回	100,000,000	101,872,000
広島市 公募平成 2 7 年度第 2 回	500,000,000	510,535,000
広島市 公募（ 1 0 年）平成 3 0 年度第 6 回	241,000,000	241,522,970
千葉市 公募平成 2 4 年度第 1 回	100,000,000	101,678,000
三重県 公募平成 2 4 年度第 1 回	140,660,000	143,000,582
三重県 公募平成 2 8 年度第 1 回	155,000,000	155,922,250
鹿児島県 公募（ 5 年）平成 2 8 年度第 1 回	100,000,000	99,977,000
福井県 公募平成 2 4 年度第 4 回	100,000,000	101,156,000
福井県 公募平成 2 7 年度第 4 回	200,000,000	200,224,000
山梨県 公募平成 2 4 年度第 1 回	200,000,000	203,336,000
岡山県 公募平成 2 8 年度第 2 回	168,900,000	170,388,009
愛知県・名古屋市折半保証名古屋高速道路債券 第 9 6 回	100,000,000	116,635,000
愛知県・名古屋市折半保証名古屋高速道路債券 第 1 0 2 回	300,000,000	354,474,000
福岡北九州高速道路債券 第 1 1 7 回	100,000,000	115,940,000
	100,000,000	104,792,000

	小計	福岡北九州高速道路債券 第 1 3 6 回			
		銘柄数：282	47,012,820,000	49,366,579,560	
		組入時価比率：7.1%		7.2%	
	合計			49,366,579,560	
特殊債券	日本円	フランス預金供託公庫 第 4 回円貨債券（2014）	100,000,000	102,179,000	
		新関西国際空港債券 政府保証第 1 回	151,000,000	153,509,620	
		新関西国際空港債券 政府保証第 2 回	191,000,000	195,851,400	
		新関西国際空港債券 政府保証第 5 回	117,000,000	117,957,060	
		新関西国際空港社債 財投機関債第 1 2 回	100,000,000	107,648,000	
		新関西国際空港社債 財投機関債第 2 2 回	200,000,000	200,000,000	
		日本政策投資銀行債券 政府保証第 2 2 回	100,000,000	106,188,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 3 1 回	300,000,000	304,581,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 4 7 回	100,000,000	107,675,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 7 8 回	200,000,000	201,440,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 8 2 回	100,000,000	101,052,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 8 6 回	300,000,000	302,001,000	
		日本政策投資銀行社債 財投機関債第 9 6 回	200,000,000	200,774,000	
		日本政策投資銀行社債 政府保証第 1 6 回	102,000,000	103,752,360	
		日本政策投資銀行社債 政府保証第 1 9 回	159,000,000	161,774,550	
		日本政策投資銀行社債 政府保証第 3 8 回	1,500,000,000	1,500,945,000	
		日本政策投資銀行社債 政府保証第 4 2 回	300,000,000	302,610,000	
		道路債券 財投機関債第 1 7 回	300,000,000	310,344,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 4 回	100,000,000	131,649,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 8 回	200,000,000	225,970,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 1 7 回	100,000,000	113,522,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 2 3 回	300,000,000	346,497,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 3 3 回	200,000,000	309,248,000	
		日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第 3 9 回	200,000,000	235,264,000	

日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第47回	100,000,000	119,275,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第80回	100,000,000	101,375,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第84回	400,000,000	406,104,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第86回	200,000,000	202,820,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第89回	100,000,000	116,448,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第100回	200,000,000	203,442,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第102回	100,000,000	101,608,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第103回	350,000,000	408,450,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第105回	100,000,000	118,739,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第107回	100,000,000	102,514,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第116回	400,000,000	408,268,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第122回	100,000,000	102,339,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第123回	100,000,000	102,290,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第130回	200,000,000	203,928,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第134回	200,000,000	203,694,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第136回	200,000,000	204,374,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第145回	300,000,000	356,055,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第149回	100,000,000	120,564,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第157回	100,000,000	106,458,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第164回	100,000,000	110,467,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第173回	100,000,000	93,417,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第188回	100,000,000	102,187,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第92回	200,000,000	236,696,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第97回	200,000,000	237,110,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第99回	200,000,000	239,342,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第106回	200,000,000	238,214,000	
	200,000,000	235,048,000	

日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 1 4 回			
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 2 3 回	100,000,000	129,867,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 4 9 回	140,000,000	141,790,600	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 5 5 回	100,000,000	101,316,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 5 7 回	140,000,000	141,943,200	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 6 3 回	1,000,000,000	1,016,270,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 6 5 回	100,000,000	125,334,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 6 8 回	100,000,000	101,662,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 6 9 回	100,000,000	116,451,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 7 0 回	218,000,000	221,631,880	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 7 1 回	100,000,000	115,702,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 7 2 回	300,000,000	382,041,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 7 3 回	200,000,000	203,482,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 7 5 回	200,000,000	203,506,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 8 0 回	200,000,000	203,502,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 8 2 回	900,000,000	918,558,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 8 3 回	100,000,000	117,963,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 8 9 回	196,000,000	198,924,320	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 9 0 回	400,000,000	406,868,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 9 3 回	1,000,000,000	1,025,480,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 1 9 7 回	272,000,000	278,974,080	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 2 0 7 回	300,000,000	306,873,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 2 1 1 回	137,000,000	140,142,780	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 2 1 3 回	145,000,000	148,324,850	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 2 1 6 回	100,000,000	115,731,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第 2 1 7 回	100,000,000	124,283,000	
	100,000,000	115,765,000	

日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第219回			
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第220回	100,000,000	102,450,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第224回	100,000,000	124,393,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第225回	190,000,000	194,200,900	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第229回	630,000,000	644,080,500	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第234回	100,000,000	101,983,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第239回	500,000,000	558,505,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第261回	401,000,000	408,578,900	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第271回	151,000,000	150,998,490	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第297回	100,000,000	100,409,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第306回	403,000,000	406,300,570	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第315回	100,000,000	100,748,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第321回	600,000,000	605,646,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第324回	100,000,000	100,387,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第335回	100,000,000	104,659,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第339回	500,000,000	505,630,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第342回	131,000,000	131,936,650	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第351回	100,000,000	100,660,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第354回	200,000,000	201,100,000	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第357回	100,000,000	101,143,000	
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第13回	130,000,000	135,950,100	
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第28回	400,000,000	528,312,000	
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第33回	100,000,000	133,935,000	
日本高速道路保有・債務返済機構承継 財投機関債第38回	1,000,000,000	1,089,440,000	
公営企業債券 30年第4回財投機関債	100,000,000	134,233,000	
地方公営企業等金融機構債券（20年）第1回	100,000,000	115,809,000	
	100,000,000	117,923,000	

地方公共団体金融機構債券 20年 第4回			
地方公共団体金融機構債券 F16 回	100,000,000	112,260,000	
地方公共団体金融機構債券 20年 第6回	300,000,000	358,446,000	
地方公共団体金融機構債券 F24 回	100,000,000	104,189,000	
地方公共団体金融機構債券（20 年）第10回	300,000,000	346,197,000	
地方公共団体金融機構債券 F10 4回	100,000,000	105,765,000	
地方公共団体金融機構債券 F10 6回	100,000,000	104,369,000	
地方公共団体金融機構債券 F12 2回	100,000,000	108,724,000	
地方公共団体金融機構債券 F12 4回	100,000,000	108,715,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第37回	604,000,000	614,026,400	
地方公共団体金融機構債券 第37 回	400,000,000	406,080,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第38回	194,000,000	197,160,260	
地方公共団体金融機構債券 F13 2回	500,000,000	525,895,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第39回	100,000,000	101,630,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第40回	101,000,000	102,726,090	
政保 地方公共団体金融機構債券 第41回	102,000,000	103,758,480	
地方公共団体金融機構債券 第41 回	600,000,000	610,020,000	
地方公共団体金融機構債券 F14 2回	100,000,000	104,160,000	
地方公共団体金融機構債券 F14 5回	200,000,000	209,308,000	
地方公共団体金融機構債券 F14 7回	100,000,000	107,621,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第42回	108,000,000	109,960,200	
地方公共団体金融機構債券 第42 回	100,000,000	101,736,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第43回	202,000,000	205,486,520	
政保 地方公共団体金融機構債券 第44回	145,000,000	147,952,200	
地方公共団体金融機構債券 第44 回	100,000,000	101,841,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第45回	223,000,000	227,584,880	
	100,000,000	106,963,000	

地方公共団体金融機構債券 F 1 6 0 回			
政保 地方公共団体金融機構債券 第 4 8 回	500,000,000	508,460,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 4 9 回	13,000,000	13,326,690	
地方公共団体金融機構債券（ 2 0 年 ） 第 2 9 回	100,000,000	117,504,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 5 0 回	100,000,000	102,666,000	
地方公共団体金融機構債券 第 5 1 回	600,000,000	614,628,000	
地方公共団体金融機構債券 第 5 2 回	300,000,000	307,260,000	
地方公共団体金融機構債券（ 1 5 年 ） 第 2 回	200,000,000	216,770,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 5 6 回	591,000,000	605,863,650	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 5 9 回	116,000,000	118,788,640	
地方公共団体金融機構債券（ 2 0 年 ） 第 3 8 回	100,000,000	115,055,000	
地方公共団体金融機構債券 F 2 4 0 回	300,000,000	325,005,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 6 4 回	100,000,000	102,184,000	
地方公共団体金融機構債券 第 6 4 回	100,000,000	102,203,000	
地方公共団体金融機構債券（ 2 0 年 ） 第 3 9 回	100,000,000	114,316,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 6 5 回	400,000,000	408,852,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 6 9 回	320,000,000	325,817,600	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 7 2 回	189,000,000	193,481,190	
地方公共団体金融機構債券 第 7 4 回	300,000,000	307,158,000	
地方公共団体金融機構債券 第 7 7 回	100,000,000	102,145,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 7 8 回	509,000,000	518,584,470	
地方公共団体金融機構債券 第 7 9 回	400,000,000	408,636,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 （ 8 年 ） 第 5 回	500,000,000	502,935,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 8 3 回	116,000,000	115,998,840	
地方公共団体金融機構債券 第 9 5 回	200,000,000	201,118,000	
地方公共団体金融機構債券 第 1 0 1 回	400,000,000	402,828,000	
	157,000,000	158,081,730	

政保 地方公共団体金融機構債券 第 1 0 8 回			
政保 地方公共団体金融機構債券 第 1 1 0 回	100,000,000	100,547,000	
政保 地方公共団体金融機構債券 第 1 1 3 回	110,000,000	111,423,400	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 2 回財 投機関債	100,000,000	103,266,000	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 5 回財 投機関債	200,000,000	212,680,000	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 1 9 回 財投機関債	100,000,000	114,203,000	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 2 0 回 財投機関債	100,000,000	113,865,000	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 2 4 回 財投機関債	100,000,000	116,236,000	
公営企業債券（ 2 0 年 ） 第 2 5 回 財投機関債	100,000,000	118,222,000	
都市再生債券 財投機関債第 9 6 回	200,000,000	204,504,000	
都市再生債券 財投機関債第 9 7 回	100,000,000	107,586,000	
都市再生債券 財投機関債第 1 0 1 回	100,000,000	106,884,000	
都市再生債券 財投機関債第 1 0 9 回	100,000,000	107,045,000	
都市再生債券 財投機関債第 1 1 3 回	300,000,000	319,671,000	
都市再生債券 財投機関債第 1 2 7 回	100,000,000	99,879,000	
本州四国連絡橋債券 財投機関債第 7 回	100,000,000	110,441,000	
民間都市開発推進機構 政府保証第 1 6 回	360,000,000	367,844,400	
東京交通債券 第 3 4 2 回	200,000,000	208,462,000	
東京交通債券 第 3 4 7 回	157,000,000	167,790,610	
関西国際空港社債 財投機関債第 3 8 回	100,000,000	101,402,000	
福祉医療機構債券 第 3 1 回財投機 関債	100,000,000	101,641,000	
中部国際空港債券 政府保証第 1 8 回	368,000,000	374,473,120	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 3 回	200,000,000	227,802,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 6 回	200,000,000	231,548,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 8 回	100,000,000	106,397,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 4 2 回	100,000,000	108,589,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 4 9 回	100,000,000	118,549,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 5 9 回	100,000,000	117,535,000	

住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 7 5 回	100,000,000	119,473,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 7 7 回	300,000,000	328,659,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 7 8 回	100,000,000	119,439,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 8 5 回	200,000,000	234,774,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 9 0 回	200,000,000	218,728,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 2 0 回	100,000,000	118,257,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 2 3 回	100,000,000	117,689,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 2 8 回	100,000,000	133,738,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 3 2 回	200,000,000	214,180,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 3 7 回	100,000,000	109,011,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 4 3 回	100,000,000	108,373,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 7 7 回	250,000,000	255,380,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 1 9 8 回	300,000,000	301,122,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 2 2 3 回	100,000,000	101,147,000	
住宅金融支援機構債券 財投機関債 第 2 4 4 回	130,000,000	131,316,900	
成田国際空港 第 1 3 回一般担保付	200,000,000	203,686,000	
成田国際空港 第 1 7 回	400,000,000	407,440,000	
商工債券 利付第 8 0 6 回い号	300,000,000	300,252,000	
商工債券 利付第 8 1 1 回い号	300,000,000	300,723,000	
商工債券 利付第 8 1 5 回い号	100,000,000	100,261,000	
商工債券 利付第 8 1 8 回い号	100,000,000	100,286,000	
商工債券 利付第 8 1 9 回い号	300,000,000	300,972,000	
商工債券 利付第 8 2 9 回い号	200,000,000	200,226,000	
商工債券 利付第 8 3 1 回い号	200,000,000	199,840,000	
商工債券 利付第 8 3 3 回い号	100,000,000	99,794,000	
しんきん中金債券 利付第 3 2 7 回	200,000,000	200,132,000	
しんきん中金債券 利付第 3 3 5 回	200,000,000	200,298,000	
商工債券 利付（ 3 年 ）第 2 3 1 回	200,000,000	200,080,000	
商工債券 利付（ 3 年 ）第 2 3 6 回	500,000,000	499,535,000	
商工債券 利付（ 1 0 年 ）第 1 5 回	200,000,000	203,296,000	
国際協力機構債券 第 6 回財投機関 債	200,000,000	238,290,000	
東日本高速道路 第 6 1 回	200,000,000	198,678,000	
中日本高速道路 第 6 3 回	100,000,000	102,386,000	

西日本高速道路 第 2 0 回	200,000,000	204,298,000	
西日本高速道路 第 2 2 回	400,000,000	409,776,000	
西日本高速道路 第 2 3 回	100,000,000	102,084,000	
西日本高速道路 第 3 0 回	300,000,000	300,933,000	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第 6 2 回	100,000,000	102,211,000	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第 6 8 回	200,000,000	204,262,000	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第 6 9 回	100,000,000	114,312,000	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第 7 1 回	500,000,000	510,220,000	
貸付債権担保第 1 2 回住宅金融公庫債券	30,459,000	30,665,207	
貸付債権担保第 1 9 回住宅金融公庫債券	56,765,000	57,543,815	
貸付債権担保第 5 回 S 種住宅金融公庫債券	34,662,000	35,222,484	
貸付債権担保第 4 2 回住宅金融公庫債券	38,133,000	39,553,454	
貸付債権担保第 7 回 S 種住宅金融公庫債券	12,002,000	12,305,530	
貸付債権担保第 3 9 回住宅金融公庫債券	25,800,000	26,563,680	
貸付債権担保第 4 0 回住宅金融公庫債券	29,630,000	30,932,831	
貸付債権担保第 1 5 回住宅金融公庫債券	33,084,000	33,480,346	
貸付債権担保第 3 2 回住宅金融公庫債券	54,276,000	55,826,665	
貸付債権担保第 2 0 回住宅金融公庫債券	56,860,000	57,860,736	
貸付債権担保第 4 4 回住宅金融公庫債券	51,224,000	52,990,203	
貸付債権担保第 8 回住宅金融支援機構債券	84,750,000	87,712,012	
貸付債権担保第 7 回住宅金融支援機構債券	14,214,000	14,791,372	
貸付債権担保第 2 5 回住宅金融支援機構債券	22,373,000	24,081,626	
貸付債権担保第 2 8 回住宅金融支援機構債券	71,643,000	76,537,649	
貸付債権担保 S 種第 1 6 回住宅金融支援機構債券	13,881,000	14,093,101	
貸付債権担保第 4 2 回住宅金融支援機構債券	76,234,000	80,441,354	
貸付債権担保 S 種第 1 7 回住宅金融支援機構債券	27,846,000	28,303,509	
貸付債権担保第 4 5 回住宅金融支援機構債券	91,200,000	96,997,584	
貸付債権担保第 5 2 回住宅金融支援機構債券	69,228,000	73,156,689	

貸付債権担保第 2 4 回住宅金融支援 機構債券	39,852,000	42,617,330	
貸付債権担保第 4 8 回住宅金融支援 機構債券	86,676,000	92,257,067	
貸付債権担保第 4 0 回住宅金融支援 機構債券	94,023,000	98,381,906	
貸付債権担保第 6 2 回住宅金融支援 機構債券	132,855,000	139,278,539	
貸付債権担保第 6 0 回住宅金融支援 機構債券	128,634,000	135,551,936	
貸付債権担保第 6 1 回住宅金融支援 機構債券	82,766,000	86,907,610	
貸付債権担保第 5 1 回住宅金融支援 機構債券	32,039,000	33,923,533	
貸付債権担保第 4 3 回住宅金融支援 機構債券	74,278,000	78,902,548	
貸付債権担保第 7 9 回住宅金融支援 機構債券	42,930,000	44,719,751	
貸付債権担保第 8 1 回住宅金融支援 機構債券	92,342,000	96,309,935	
貸付債権担保第 7 2 回住宅金融支援 機構債券	41,806,000	43,562,688	
貸付債権担保第 2 2 回住宅金融公庫 債券	24,106,000	24,602,583	
貸付債権担保第 7 0 回住宅金融支援 機構債券	125,364,000	131,582,054	
貸付債権担保第 3 3 回住宅金融支援 機構債券	26,974,000	28,829,811	
貸付債権担保第 3 4 回住宅金融支援 機構債券	29,349,000	31,428,963	
貸付債権担保第 3 5 回住宅金融支援 機構債券	27,749,000	29,509,951	
貸付債権担保第 4 6 回住宅金融支援 機構債券	30,895,000	32,941,484	
貸付債権担保第 5 5 回住宅金融支援 機構債券	84,388,000	89,253,812	
貸付債権担保第 5 6 回住宅金融支援 機構債券	119,967,000	126,679,153	
貸付債権担保第 5 7 回住宅金融支援 機構債券	40,151,000	42,425,152	
貸付債権担保第 7 6 回住宅金融支援 機構債券	81,066,000	84,893,125	
貸付債権担保 S 種第 3 回住宅金融公 庫債券	11,088,000	11,246,447	
貸付債権担保 S 種第 1 4 回住宅金融 支援機構債券	56,725,000	57,148,735	
貸付債権担保 S 種第 1 5 回住宅金融 支援機構債券	23,298,000	23,473,666	
貸付債権担保第 2 3 回住宅金融支援 機構債券	77,792,000	82,733,347	
貸付債権担保第 3 2 回住宅金融支援 機構債券	78,762,000	83,908,309	
	151,475,000	159,348,670	

貸付債権担保第 3 9 回住宅金融支援機構債券			
貸付債権担保第 5 8 回住宅金融支援機構債券	85,696,000	90,542,108	
貸付債権担保第 6 4 回住宅金融支援機構債券	139,779,000	146,330,441	
貸付債権担保第 7 1 回住宅金融支援機構債券	122,334,000	127,361,927	
貸付債権担保第 7 3 回住宅金融支援機構債券	94,296,000	99,436,074	
貸付債権担保第 7 5 回住宅金融支援機構債券	81,008,000	85,030,857	
貸付債権担保第 8 3 回住宅金融支援機構債券	196,332,000	204,528,861	
貸付債権担保第 8 4 回住宅金融支援機構債券	338,611,000	352,307,814	
貸付債権担保第 8 8 回住宅金融支援機構債券	51,301,000	53,180,668	
貸付債権担保第 8 9 回住宅金融支援機構債券	53,905,000	55,951,772	
貸付債権担保第 9 0 回住宅金融支援機構債券	55,272,000	57,136,324	
貸付債権担保第 9 2 回住宅金融支援機構債券	115,010,000	118,124,470	
貸付債権担保第 9 3 回住宅金融支援機構債券	120,664,000	123,000,055	
貸付債権担保第 9 4 回住宅金融支援機構債券	64,505,000	66,460,146	
貸付債権担保第 9 6 回住宅金融支援機構債券	67,872,000	69,720,154	
貸付債権担保第 9 7 回住宅金融支援機構債券	202,134,000	208,660,906	
貸付債権担保第 9 8 回住宅金融支援機構債券	208,485,000	216,063,429	
貸付債権担保第 9 9 回住宅金融支援機構債券	139,488,000	144,400,767	
貸付債権担保第 1 0 0 回住宅金融支援機構債券	68,467,000	70,759,275	
貸付債権担保第 1 0 1 回住宅金融支援機構債券	69,079,000	71,576,896	
貸付債権担保第 1 1 5 回住宅金融支援機構債券	251,532,000	253,275,116	
貸付債権担保第 1 1 6 回住宅金融支援機構債券	168,730,000	170,761,509	
貸付債権担保第 1 1 7 回住宅金融支援機構債券	169,526,000	171,311,108	
貸付債権担保第 1 1 8 回住宅金融支援機構債券	84,836,000	85,792,101	
貸付債権担保第 1 1 9 回住宅金融支援機構債券	170,112,000	171,904,980	
貸付債権担保第 1 2 0 回住宅金融支援機構債券	85,837,000	86,409,532	
	86,149,000	86,883,850	

		貸付債権担保第 1 2 1 回住宅金融支援機構債券			
		貸付債権担保第 1 2 3 回住宅金融支援機構債券	87,530,000	88,436,810	
		貸付債権担保第 1 2 5 回住宅金融支援機構債券	350,348,000	352,989,623	
		貸付債権担保第 1 2 6 回住宅金融支援機構債券	264,426,000	266,565,206	
		貸付債権担保第 1 2 8 回住宅金融支援機構債券	176,796,000	178,100,754	
		貸付債権担保第 1 2 9 回住宅金融支援機構債券	179,094,000	180,872,403	
		貸付債権担保第 1 3 4 回住宅金融支援機構債券	183,134,000	184,024,031	
		貸付債権担保第 1 3 5 回住宅金融支援機構債券	91,647,000	92,084,156	
		貸付債権担保第 1 3 6 回住宅金融支援機構債券	92,047,000	92,877,263	
		貸付債権担保第 1 4 0 回住宅金融支援機構債券	93,102,000	93,515,372	
		貸付債権担保第 1 4 2 回住宅金融支援機構債券	283,407,000	283,336,148	
		貸付債権担保第 1 4 4 回住宅金融支援機構債券	284,166,000	284,225,674	
		貸付債権担保第 1 5 0 回住宅金融支援機構債券	485,255,000	480,315,104	
		貸付債権担保第 1 5 2 回住宅金融支援機構債券	195,856,000	195,846,207	
		貸付債権担保第 1 5 4 回住宅金融支援機構債券	197,404,000	196,851,268	
	小計	銘柄数：310	56,905,786,000	59,780,167,191	
		組入時価比率：8.6%		8.7%	
	合計			59,780,167,191	
社債券	日本円	フランス相互信用連合銀行（ＢＦＣＭ）第 1 4 回円貨社債	200,000,000	199,864,000	
		フランス相互信用連合銀行（ＢＦＣＭ）第 2 9 回円貨社債	200,000,000	196,524,000	
		フランス相互信用連合銀行（ＢＦＣＭ）第 3 1 回円貨社債	100,000,000	95,712,000	
		ビー・ピー・シー・イー・エス・エー 第 1 4 回円貨社債	100,000,000	99,217,000	
		ビー・ピー・シー・イー・エス・エー 第 1 回非上位円貨社債	200,000,000	200,602,000	
		クレディ・アグリコル・エス・エー 第 6 回円貨社債（２０１４）	100,000,000	101,657,000	
		クレディ・アグリコル・エス・エー 第 1 5 回円貨社債（２０１８）	100,000,000	99,688,000	
		クレディ・アグリコル・エス・エー 第 1 6 回円貨社債（２０１８）	100,000,000	99,026,000	
		スタンダード・チャータード 第 3 回円貨社債（２０１５）	100,000,000	100,287,000	

エイチエスピーシー・ホールディングス・ピーエルシー 第2回円	100,000,000	100,609,000	
エイチエスピーシー・ホールディングス・ピーエルシー 第3回円	100,000,000	100,674,000	
ロイズ・バンキング・グループ・ピーエルシー 第1回円貨社債	100,000,000	100,116,000	
ロイズ・バンキング・グループ・ピーエルシー 第6回円貨社債	100,000,000	98,832,000	
ロイズ・バンキング・グループ・ピーエルシー 第7回円貨社債	100,000,000	95,679,000	
サントナデル銀行 第1回円貨社債	100,000,000	98,800,000	
フランス電力 第4回円貨社債（2017）	100,000,000	102,518,000	
現代キャピタル・サービス・インク 第15回円貨社債	200,000,000	195,162,000	
ビー・エヌ・ビー・パリバ 第1回円貨社債（2017）	100,000,000	99,788,000	
ウエストバック・バンキング・コーポレーション 第12回円貨社	200,000,000	200,418,000	
オーストラリア・ニュージーランド銀行 第10回円貨社債	200,000,000	199,354,000	
ソシエテ・ジェネラル 第1回非上位円貨社債（2017）	100,000,000	99,611,000	
長谷工コーポレーション 第13回社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,922,000	
長谷工コーポレーション 第14回社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,812,000	
大和ハウス工業 第9回社債間限定同順位特約付	100,000,000	97,550,000	
日揮ホールディングス 第6回特定社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,788,000	
明治ホールディングス 第8回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,779,000	
アサヒグループホールディングス 第8回特定社債間限定同順位特	100,000,000	100,299,000	
味の素 第24回特定社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,652,000	
日本たばこ産業 第13回	100,000,000	100,076,000	
三越伊勢丹ホールディングス 第6回社債間限定同順位特約付	100,000,000	98,634,000	
トヨタ紡織 第2回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,437,000	
森ヒルズリート投資法人 第17回特定投資法人債間限定同順位特	200,000,000	196,170,000	
森ビル 第23回社債間限定同順位特約付	100,000,000	98,926,000	
東急不動産ホールディングス 第2回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,087,000	
東レ 第30回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,302,000	
東レ 第33回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,015,000	

日本土地建物 第4回社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,458,000	
王子ホールディングス 第34回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,114,000	
住友化学 第56回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,666,000	
三井化学 第48回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,517,000	
三菱ケミカルホールディングス 第29回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,372,000	
三菱ケミカルホールディングス 第37回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,470,000	
電通 第1回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,558,000	
電通 第3回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,958,000	
電通 第4回社債間限定同順位特約付	300,000,000	299,883,000	
ツムラ 第1回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,842,000	
第一三共 第4回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,796,000	
ヤフー 第6回社債間限定同順位特約付	100,000,000	98,707,000	
ヤフー 第12回社債間限定同順位特約付	100,000,000	97,724,000	
楽天 第13回社債間限定同順位特約付	100,000,000	97,206,000	
横浜ゴム 第10回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,196,000	
ブリヂストン 第11回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,619,000	
住友ゴム工業 第24回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,812,000	
日本特殊陶業 第8回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,677,000	
新日鐵住金 第7回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,758,000	
新日鐵住金 第9回社債間限定同順位特約付	300,000,000	296,874,000	
神戸製鋼所 第62回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,691,000	
ジェイ エフ イー ホールディングス 第28回社債間限定同順位	100,000,000	98,346,000	
ジェイ エフ イー ホールディングス 第34回社債間限定同順位	300,000,000	299,811,000	
DOWAホールディングス 第4回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,530,000	
住友電気工業 第26回社債間限定同順位特約付	200,000,000	198,814,000	
LIXILグループ 第11回社債間限定同順位特約付	300,000,000	299,679,000	
	200,000,000	216,660,000	

日立製作所 第17回社債間限定同順位特約付			
日本電産 第3回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,557,000	
日本電産 第8回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,415,000	
日本電気 第48回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,752,000	
パナソニック 第16回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,310,000	
パナソニック 第17回社債間限定同順位特約付	200,000,000	200,782,000	
ソニー 第32回	200,000,000	200,090,000	
東海理化電機製作所 第1回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,384,000	
三菱重工業 第35回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,188,000	
J A三井リース 第7回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,024,000	
J A三井リース 第8回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,988,000	
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス 第2回社債間限定	100,000,000	100,057,000	
トヨタ自動車 第14回社債間限定同等特約付	100,000,000	102,230,000	
アイシン精機 第15回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,209,000	
楽天カード 第3回社債間限定同順位特約付	100,000,000	98,832,000	
ドンキホーテホールディングス 第12回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,130,000	
ニコン 第20回特定社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,655,000	
豊田通商 第18回社債間限定同順位特約付	100,000,000	103,643,000	
豊田通商 第19回社債間限定同順位特約付	200,000,000	207,286,000	
三井物産 第71回社債間限定同順位特約付	100,000,000	107,314,000	
住友商事 第45回社債間限定同順位特約付	100,000,000	101,546,000	
住友商事 第49回社債間限定同順位特約付	100,000,000	107,289,000	
住友商事 第53回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,940,000	
丸井グループ 第28回社債間限定同順位特約付	200,000,000	200,760,000	
クレディセゾン 第50回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,011,000	
クレディセゾン 第65回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,273,000	
クレディセゾン 第81回社債間限定同順位特約付	200,000,000	199,730,000	

イオン 第 2 0 回社債間限定同順位 特約付	100,000,000	101,373,000	
三菱ＵＦＪフィナンシャル・グルー プ 第 1 回劣後特約付	100,000,000	101,441,000	
りそなホールディングス 第 2 0 回 社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,697,000	
三井住友トラスト・ホールディング ス 第 2 回劣後特約付	200,000,000	201,852,000	
みずほコーポレート銀行 第 8 回特 定社債間限定同順位特約付	100,000,000	114,310,000	
東京三菱銀行 第 5 7 回特定社債間 限定同順位特約付	100,000,000	104,454,000	
三井住友フィナンシャルグループ 第 1 回劣後特約付	300,000,000	303,723,000	
三井住友フィナンシャルグループ 第 3 回劣後特約付	100,000,000	101,523,000	
三井住友フィナンシャルグループ 第 4 回劣後特約付	100,000,000	104,154,000	
三井住友信託銀行 第 1 回劣後特約 付	300,000,000	307,086,000	
セブン銀行 第 1 0 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	101,717,000	
セブン銀行 第 1 1 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	101,500,000	
セブン銀行 第 1 2 回社債間限定同 順位特約付	300,000,000	303,237,000	
みずほフィナンシャルグループ 第 1 回劣後特約付	200,000,000	202,614,000	
みずほ銀行 第 7 回劣後特約付	100,000,000	113,135,000	
みずほリース 第 3 回社債間限定同 順位特約付	300,000,000	299,382,000	
ＮＴＴファイナンス 第 2 回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	100,194,000	
トヨタファイナンス 第 7 7 回社債 間限定同順位特約付	100,000,000	99,903,000	
トヨタファイナンス 第 8 1 回社債 間限定同順位特約付	100,000,000	99,929,000	
リコーリース 第 2 8 回社債間限定 同順位特約付	100,000,000	99,374,000	
アコム 第 7 7 回特定社債間限定同 順位特約付	100,000,000	99,755,000	
ジャックス 第 1 2 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	100,397,000	
ジャックス 第 1 9 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	99,870,000	
日立キャピタル 第 6 1 回社債間限 定同順位特約付	100,000,000	99,613,000	
日立キャピタル 第 8 0 回社債間限 定同順位特約付	100,000,000	98,084,000	
三井住友ファイナンス＆リース 第 2 7 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,290,000	
三菱ＵＦＪリース 第 5 2 回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	100,040,000	

三菱ＵＦＪリース 第７５回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	99,943,000	
三菱ＵＦＪリース 第７６回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	99,461,000	
大和証券グループ本社 第２３回社 債間限定同順位特約付	100,000,000	102,075,000	
三井不動産 第７１回社債間限定同 順位特約付	200,000,000	196,880,000	
三菱地所 第５６回担保提供制限等 財務上特約無	100,000,000	104,032,000	
三菱地所 第１１１回担保提供制限 等財務上特約無	100,000,000	101,551,000	
三菱地所 第１２０回担保提供制限 等財務上特約無	100,000,000	99,147,000	
東京建物 第２５回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	100,071,000	
ダイビル 第１９回特定社債間限定 同順位特約付	100,000,000	96,282,000	
住友不動産 第９５回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	102,397,000	
日本ビルファンド投資法人 第１３ 回特定投資法人債間限定同順位	100,000,000	102,191,000	
野村不動産オフィスファンド投資法 人 第７回特定投資法人債間限	100,000,000	115,361,000	
積水ハウス・ＳＩレジデンシャル投 資法人 第５回特定投資法人債	100,000,000	101,514,000	
東武鉄道 第１０２回社債間限定同 順位特約付	200,000,000	210,194,000	
相鉄ホールディングス 第３２回相 模鉄道株式会社保証付	200,000,000	202,268,000	
東京急行電鉄 第７５回社債間限定 同順位特約付	100,000,000	101,524,000	
東京急行電鉄 第８２回社債間限定 同順位特約付	100,000,000	109,325,000	
小田急電鉄 第６８回社債間限定同 順位特約付	200,000,000	214,734,000	
小田急電鉄 第７４回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	101,342,000	
東日本旅客鉄道 第１９回社債間限 定同順位特約付	200,000,000	206,840,000	
東日本旅客鉄道 第３９回社債間限 定同順位特約付	100,000,000	109,231,000	
東日本旅客鉄道 第５７回社債間限 定同順位特約付	200,000,000	235,086,000	
東日本旅客鉄道 第７１回社債間限 定同順位特約付	100,000,000	116,059,000	
東日本旅客鉄道 第１０６回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	106,387,000	
東日本旅客鉄道 第１０７回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	114,536,000	
東日本旅客鉄道 第１３３回社債間 限定同順位特約付	100,000,000	109,960,000	
	200,000,000	189,950,000	

東日本旅客鉄道 第 1 4 5 回社債間 限定同順位特約付			
西日本旅客鉄道 第 1 3 回社債間限 定同順位特約付	100,000,000	113,887,000	
西日本旅客鉄道 第 1 5 回社債間限 定同順位特約付	300,000,000	344,751,000	
西日本旅客鉄道 第 6 6 回社債間限 定同順位特約付	200,000,000	199,710,000	
東海旅客鉄道 第 1 7 回社債間限定 同順位特約付	200,000,000	217,092,000	
東海旅客鉄道 第 5 1 回社債間限定 同順位特約付	200,000,000	236,886,000	
東海旅客鉄道 第 7 0 回社債間限定 同順位特約付	100,000,000	110,514,000	
東海旅客鉄道 第 7 4 回社債間限定 同順位特約付	100,000,000	120,094,000	
東京地下鉄 第 2 2 回	100,000,000	100,268,000	
東京地下鉄 第 2 3 回	100,000,000	101,235,000	
東京地下鉄 第 2 4 回	100,000,000	106,107,000	
西武ホールディングス 第 1 回社債 間限定同順位特約付	200,000,000	201,762,000	
西日本鉄道 第 4 5 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	102,110,000	
名古屋鉄道 第 5 0 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	103,233,000	
日本通運 第 1 1 回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	99,035,000	
日本通運 第 1 2 回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	98,703,000	
日本郵船 第 3 2 回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	105,746,000	
横浜高速鉄道 第 2 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	100,228,000	
九州旅客鉄道 第 2 回社債間限定同 順位特約付	200,000,000	201,928,000	
九州旅客鉄道 第 4 回社債間限定同 順位特約付	100,000,000	96,506,000	
A N A ホールディングス 第 3 2 回 社債間限定同順位特約付	100,000,000	91,888,000	
澁澤倉庫 第 8 回社債間限定同順位 特約付	100,000,000	99,270,000	
K D D I 第 2 0 回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	102,026,000	
K D D I 第 2 5 回社債間限定同順 位特約付	100,000,000	100,124,000	
東京電力 第 5 4 8 回	100,000,000	109,970,000	
東京電力 第 5 6 0 回	100,000,000	108,291,000	
中部電力 第 5 0 0 回	200,000,000	205,614,000	
中部電力 第 5 2 4 回	100,000,000	101,024,000	
中部電力 第 5 3 0 回	200,000,000	199,706,000	
関西電力 第 4 9 6 回	100,000,000	103,089,000	

関西電力 第 5 0 9 回	100,000,000	100,819,000	
関西電力 第 5 1 1 回	100,000,000	100,376,000	
関西電力 第 5 1 4 回	200,000,000	200,474,000	
関西電力 第 5 2 7 回	200,000,000	200,866,000	
中国電力 第 3 7 7 回	400,000,000	412,188,000	
中国電力 第 3 7 8 回	100,000,000	102,838,000	
中国電力 第 4 0 0 回	100,000,000	100,483,000	
中国電力 第 4 0 2 回	300,000,000	301,416,000	
北陸電力 第 3 0 1 回	100,000,000	102,735,000	
北陸電力 第 3 0 4 回	100,000,000	102,743,000	
北陸電力 第 3 0 7 回	100,000,000	104,690,000	
北陸電力 第 3 0 8 回	100,000,000	102,512,000	
北陸電力 第 3 2 6 回	100,000,000	100,215,000	
東北電力 第 4 7 5 回	100,000,000	102,673,000	
東北電力 第 4 8 1 回	200,000,000	205,976,000	
東北電力 第 4 8 4 回	100,000,000	101,686,000	
東北電力 第 4 9 1 回	100,000,000	101,017,000	
東北電力 第 5 2 1 回	100,000,000	100,843,000	
四国電力 第 2 8 1 回	200,000,000	206,240,000	
九州電力 第 4 2 4 回	300,000,000	310,587,000	
九州電力 第 4 2 8 回	105,000,000	108,140,550	
九州電力 第 4 4 9 回	200,000,000	201,688,000	
九州電力 第 4 5 1 回	100,000,000	100,953,000	
九州電力 第 4 7 6 回	100,000,000	100,627,000	
北海道電力 第 3 2 1 回	100,000,000	102,989,000	
北海道電力 第 3 2 3 回	100,000,000	108,516,000	
北海道電力 第 3 3 8 回	100,000,000	101,518,000	
北海道電力 第 3 4 5 回	300,000,000	301,143,000	
電源開発 第 3 9 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,686,000	
電源開発 第 4 0 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,730,000	
電源開発 第 4 1 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,410,000	
電源開発 第 5 0 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,713,000	
電源開発 第 5 9 回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,545,000	
東京電力パワーグリッド 第 2 回	100,000,000	100,579,000	
東京電力パワーグリッド 第 6 回	100,000,000	101,106,000	
東京電力パワーグリッド 第 1 1 回	300,000,000	301,491,000	
東京電力パワーグリッド 第 1 4 回	100,000,000	100,393,000	
東京電力パワーグリッド 第 2 8 回	100,000,000	101,235,000	
東京電力パワーグリッド 第 3 5 回	100,000,000	102,205,000	
東京電力パワーグリッド 第 3 8 回	200,000,000	200,682,000	

小計	東京電力パワーグリッド 第40回	400,000,000	404,376,000	
	東京瓦斯 第38回社債間限定同順位特約付	100,000,000	126,082,000	
	東京瓦斯 第55回社債間限定同順位特約付	100,000,000	94,139,000	
	大阪瓦斯 第36回社債間限定同順位特約付	100,000,000	95,523,000	
	東邦瓦斯 第31回社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,994,000	
	北海道瓦斯 第17回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,148,000	
	北海道瓦斯 第23回社債間限定同順位特約付	100,000,000	97,448,000	
	広島ガス 第13回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,967,000	
	東京都競馬 第3回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,699,000	
	ファーストリテイリング 第3回特定社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,652,000	
	ファーストリテイリング 第4回特定社債間限定同順位特約付	100,000,000	102,158,000	
	ファーストリテイリング 第7回特定社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,818,000	
	ソフトバンクグループ 第54回社債間限定同順位特約付	100,000,000	99,579,000	
	銘柄数：225	29,805,000,000	30,325,814,550	
	組入時価比率：4.4%		4.4%	
合計		30,325,814,550		
合計		685,722,236,491		

(注1)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

野村インデックスファンド・国内債券

2020年9月30日現在

資産総額	4,555,357,187円
負債総額	49,463,294円
純資産総額（ - ）	4,505,893,893円
発行済口数	3,996,768,601口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1274円

（参考）国内債券NOMURA - B P I 総合 マザーファンド

2020年9月30日現在

資産総額	704,693,920,066円
負債総額	7,042,885,883円
純資産総額（ - ）	697,651,034,183円
発行済口数	524,569,817,805口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3299円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 受益証券の名義書換えの事務等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(2) 受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先

口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めたときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

(5) 受益権の分割および再分割

委託者は、受益権については1,000万口を上限として信託金1円につき1口に均等に分割し、追加信託によって生じた受益権については、これを追加信託のつど追加口数に、併合による信託によって生じた受益権については、下記(7)に準じて計算された口数に、それぞれ均等に分割します。

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6) 質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

(7) 信託の併合

委託者は、受託者と合意のうえ、信託の併合の方法によって、下記の規定により計算される当該他の信託（以下「併合前の信託」といいます。）の信託財産（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2項に規定する併合に係る信託財産に限ります。）を、この信託の信託財産と合わせてこの信託に信託することができます。

併合前の信託の名称ならびに割当比率（下記に規定する割当比率をいいます。）を計算した日（以下「割当比率計算日」といいます。）および併合を行なった日（以下「併合日」といいます。）は、次の通りです。

併合前の信託の名称 野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）

割当比率計算日 2020年5月26日

併合日 2020年5月27日

信託の併合が行なわれる場合、併合前の信託の受益者に対しては社振法の規定に従い、その受益者に帰属していた併合前の信託の受益権口数に次に掲げる割当比率を乗じて得たこの信託の受益権口数を交付します。ただし、計算上1口に満たない端数があるときは、当該端数口数は1口に切り上げるものとします。

割当比率 = (併合前の信託の純資産総額 ÷ 併合前の信託の受益権口数) ÷ (この信託の純資産総額 ÷ この信託の受益権口数)

なお、各計数は、割当比率計算日におけるものとします。

交付する口数の計算上1口に満たない端数の処理に関しては、切り上げにより生じた受益権の合計口数に

相当する金銭を、委託者はこの信託の信託財産に拠出して調整するものとします。

この信託の元本は、1口当たり1円とします。

投資信託財産の計算に関する規則（平成12年総理府令第133号）の規定に従い、併合前の純資産の部の各項目をこの信託に引き継ぎ、信託の併合時の元本の額は併合時の口数に1円を乗じた額とし、併合前の信託の併合直前に計上されていた元本の合計額との差額は期末剰余金または期末欠損金に加減するものとします。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1)資本金の額

2020年10月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間ににおける主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2)会社の機構

(a)会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

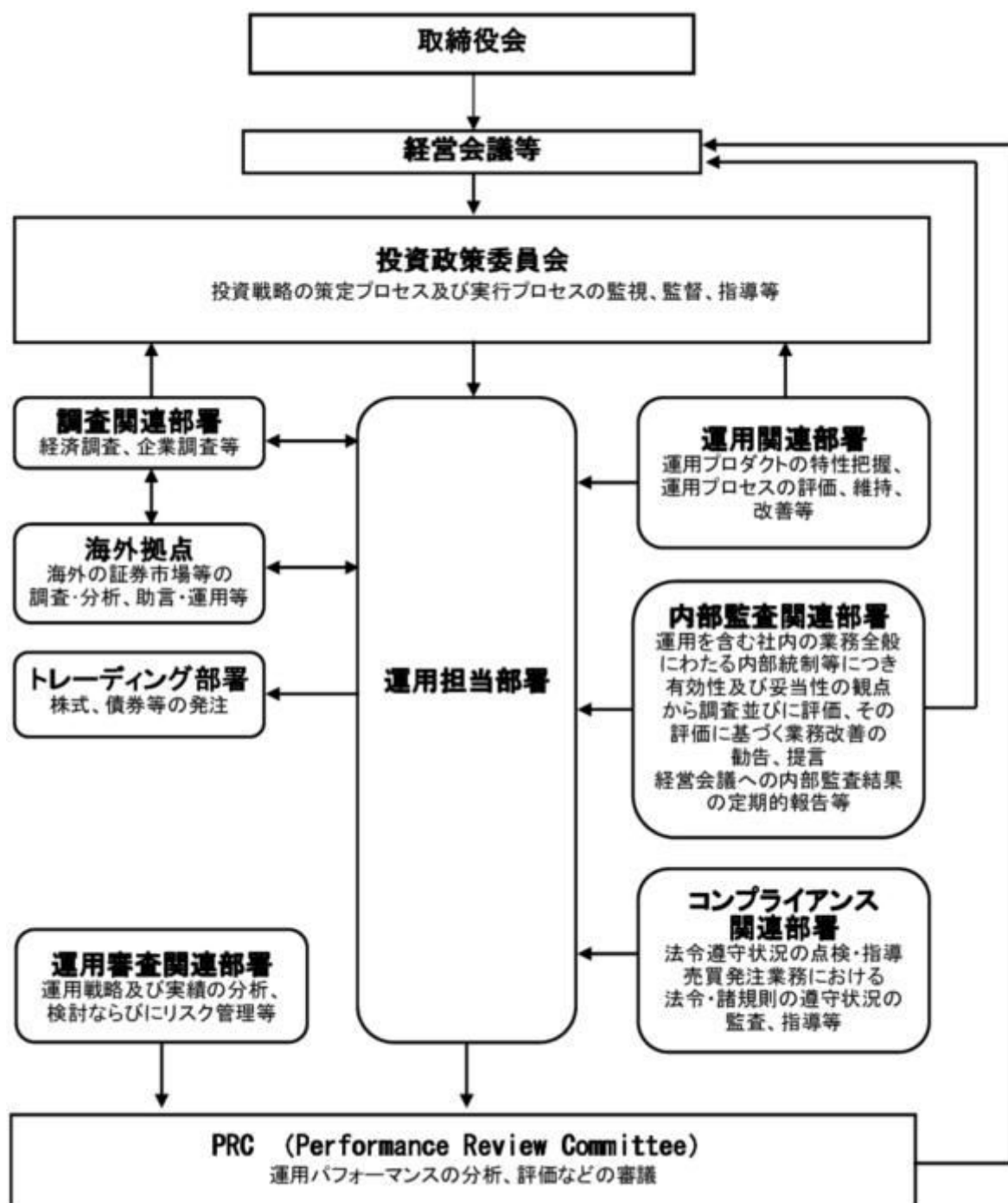
代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

監査等委員会

監査等委員である取締役3名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2020年9月30日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)。

種類	本数	純資産総額(百万円)
----	----	------------

追加型株式投資信託	991	31,472,667
単位型株式投資信託	189	830,380
追加型公社債投資信託	14	5,687,903
単位型公社債投資信託	472	1,630,568
合計	1,666	39,621,517

3【委託会社等の経理状況】

1．委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

2．財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3．委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

		前事業年度 (2019年3月31日)		当事業年度 (2020年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金・預金			1,562		2,626
金銭の信託			45,493		41,524
有価証券			19,900		24,399
前払費用			27		106
未収入金			500		522
未収委託者報酬			25,246		23,936
未収運用受託報酬			5,933		4,336
その他			269		71
貸倒引当金			15		14
流動資産計			98,917		97,509
固定資産					
有形固定資産			714		645
建物	2	320		295	
器具備品	2	393		349	
無形固定資産			6,438		5,894
ソフトウェア		6,437		5,893	
その他		0		0	

投資その他の資産			18,608		16,486
投資有価証券		1,562		1,437	
関係会社株式		12,631		10,171	
従業員長期貸付金		-		16	
長期差入保証金		235		329	
長期前払費用		22		19	
前払年金費用		2,001		1,545	
繰延税金資産		2,694		2,738	
その他		168		229	
貸倒引当金		-		0	
投資損失引当金		707		-	
固定資産計			25,761		23,026
資産合計			124,679		120,536

		前事業年度 (2019年3月31日)		当事業年度 (2020年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			145		157
未払金			16,709		15,279
未払収益分配金		0		0	
未払償還金		25		3	
未払手数料		7,724		6,948	
関係会社未払金		7,422		7,262	
その他未払金		1,535		1,063	
未払費用	1		11,704		10,290
未払法人税等			1,560		1,564
前受収益			29		26
賞与引当金			3,792		3,985
その他			-		67
流動負債計			33,942		31,371
固定負債					
退職給付引当金			3,219		3,311
時効後支払損引当金			558		572
固定負債計			3,777		3,883
負債合計			37,720		35,254
(純資産の部)					
株主資本			86,924		85,270
資本金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			56,014		54,360
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		55,329		53,675	
別途積立金		24,606		24,606	
繰越利益剰余金		30,723		29,069	
評価・換算差額等			33		10
その他有価証券評価差額金			33		10

純資産合計			86,958		85,281
負債・純資産合計			124,679		120,536

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
営業収益			
委託者報酬		119,196	115,736
運用受託報酬		21,440	17,170
その他営業収益		355	340
営業収益計		140,992	133,247
営業費用			
支払手数料		42,675	39,435
広告宣伝費		1,210	1,006
公告費		0	-
調査費		30,082	26,833
調査費		5,998	5,696
委託調査費		24,083	21,136
委託計算費		1,311	1,342
営業雑経費		5,435	5,823
通信費		92	75
印刷費		970	958
協会費		86	92
諸経費		4,286	4,696
営業費用計		80,715	74,440
一般管理費			
給料		11,113	11,418
役員報酬		379	109
給料・手当		7,067	7,173
賞与		3,666	4,134
交際費		107	86
旅費交通費		514	391
租税公課		1,048	1,029
不動産賃借料		1,223	1,227
退職給付費用		1,474	1,486
固定資産減価償却費		2,835	2,348
諸経費		10,115	10,067
一般管理費計		28,433	28,055
営業利益		31,843	30,751

		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
--	--	--	--

区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	6,538		4,936	
受取利息		0		0	
その他		424		309	
営業外収益計			6,964		5,246
営業外費用					
支払利息	1	1		-	
金銭の信託運用損		489		230	
投資事業組合等評価損		-		146	
時効後支払損引当金繰入額		43		18	
為替差損		34		23	
その他		17		23	
営業外費用計			585		443
経常利益			38,222		35,555
特別利益					
投資有価証券等売却益		20		21	
関係会社清算益	3	29		-	
株式報酬受入益		85		59	
特別利益計			135		81
特別損失					
投資有価証券等評価損		938		119	
関係会社株式評価損		161		1,591	
固定資産除却損	2	310		67	
投資損失引当金繰入額		707		-	
特別損失計			2,118		1,778
税引前当期純利益			36,239		33,858
法人税、住民税及び事業税			10,196		9,896
法人税等調整額			370		34
当期純利益			25,672		23,996

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資 本 準備金	その他 資 本 剰余金	資 本 剰余金 合 計	利 益 準備金	その他利益剰余金		利 益 剰余金 合 計	
						別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	29,876	55,168	86,078
当期変動額									
剰余金の配当							24,826	24,826	24,826

当期純利益							25,672	25,672	25,672
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	846	846	846
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,723	56,014	86,924

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	11	11	86,090
当期変動額			
剰余金の配当			24,826
当期純利益			25,672
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	21	21	21
当期変動額合計	21	21	868
当期末残高	33	33	86,958

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主 資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			利益 剰余金 合計
						別 途 積立金	繰 越 利益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,723	56,014	86,924
当期変動額									
剰余金の配当							25,650	25,650	25,650
当期純利益							23,996	23,996	23,996
株主資本以外 の項目の当期 変動額（純 額）									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	1,653	1,653	1,653
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	29,069	54,360	85,270

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	33	33	86,958
当期変動額			
剰余金の配当			25,650
当期純利益			23,996
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	23	23	23
当期変動額合計	23	23	1,676
当期末残高	10	10	85,281

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの ... 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの ... 移動平均法による原価法
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3．固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 38～50年 附属設備 8～15年 構築物 20年 器具備品 4～15年 (2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
4．引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。

5 . 消費税等の会計処理方法 6 . 連結納税制度の適用	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。 (4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。 連結納税制度を適用しております。 なお、当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。
---	--

[未適用の会計基準等]

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1: 顧客との契約を識別する。

ステップ2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ3: 取引価格を算定する。

ステップ4: 契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5: 履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

- ・「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日）
- ・「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）

（１）概要

国際的な会計基準の定めとの比較可能性を向上させるため、「時価の算定に関する会計基準」及び「時価の算定に関する会計基準の適用指針（以下「時価算定会計基準等」という。）が開発され、時価の算定方法に関するガイダンス等が定められました。時価算定会計基準等は次の項目の時価に適用されます。

- ・「金融商品に関する会計基準」における金融商品

また「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」が改訂され、金融商品の時価のレベルごとの内訳等の注記事項が定められました。

（２）適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

（３）当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

- ・「会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 2020年3月31日）

（１）概要

関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に、採用した会計処理の原則及び手続きの概要を示すことを目的とするものです。

（２）適用予定日

2021年3月期の年度末より適用予定であります。

- ・「会計上の見積りの開示に関する会計基準（企業会計基準第31号 2020年3月31日）」

（１）概要

当年度の財務諸表に計上した金額が会計上の見積りによるもののうち、翌年度の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目における会計上の見積りの内容について、財務諸表利用者の理解に資する情報を開示することを目的とするものです。

（２）適用予定日

2021年3月期の年度末より適用予定であります。

[注記事項]

貸借対照表関係

前事業年度末 (2019年3月31日)	当事業年度末 (2020年3月31日)
1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用 1,434百万円	1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用 1,296百万円

2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額	2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額
建物 736百万円	建物 761百万円
器具備品 3,106	器具備品 2,347
合計 3,842	合計 3,109

損益計算書関係

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 6,531百万円 支払利息 1	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 4,931百万円
2. 固定資産除却損 器具備品 3百万円 ソフトウェア 307 合計 310	2. 固定資産除却損 器具備品 7百万円 ソフトウェア 59 合計 67
3. 関係会社清算益 関係会社清算益は、関係会社の清算にともなう清算配当です。	

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2018年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 24,826百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 4,820円

基準日 2018年3月31日

効力発生日 2018年6月25日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 25,650百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 4,980円

基準日 2019年3月31日

効力発生日 2019年6月28日

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2019年5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 25,650百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 4,980円

基準日 2019年3月31日

効力発生日 2019年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2020年5月19日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 23,950百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 4,650円

基準日 2020年3月31日

効力発生日 2020年6月30日

金融商品関係

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒

されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	1,562	1,562	-
(2)金銭の信託	45,493	45,493	-
(3)未収委託者報酬	25,246	25,246	-
(4)未収運用受託報酬	5,933	5,933	-
(5)有価証券及び投資有価証券	19,900	19,900	-
その他有価証券	19,900	19,900	-
資産計	98,136	98,136	-
(6)未払金	16,709	16,709	-
未払収益分配金	0	0	-
未払償還金	25	25	-
未払手数料	7,724	7,724	-
関係会社未払金	7,422	7,422	-
その他未払金	1,535	1,535	-
(7)未払費用	11,704	11,704	-
(8)未払法人税等	1,560	1,560	-
負債計	29,974	29,974	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,562百万円、関係会社株式12,631百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について1,100百万円（投資有価証券938百万円、関係会社株式161百万円）減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	1,562	-	-	-
金銭の信託	45,493	-	-	-
未収委託者報酬	25,246	-	-	-
未収運用受託報酬	5,933	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	19,900	-	-	-
合計	98,136	-	-	-

当事業年度（自 2019年4月 1 日 至 2020年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（１）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
--	----------	----	----

(1)現金・預金	2,626	2,626	-
(2)金銭の信託	41,524	41,524	-
(3)未収委託者報酬	23,936	23,936	-
(4)未収運用受託報酬	4,336	4,336	-
(5)有価証券及び投資有価証券	24,399	24,399	-
その他有価証券	24,399	24,399	-
資産計	96,823	96,823	-
(6)未払金	15,279	15,279	-
未払収益分配金	0	0	-
未払償還金	3	3	-
未払手数料	6,948	6,948	-
関係会社未払金	7,262	7,262	-
その他未払金	1,063	1,063	-
(7)未払費用	10,290	10,290	-
(8)未払法人税等	1,564	1,564	-
負債計	27,134	27,134	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

 その他有価証券

譲渡性預金及びコマーシャル・ペーパーは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっており

ます。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,437百万円、関係会社株式10,171百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。当事業年度において、非上場株式について2,416百万円（投資有価証券117百万円、関係会社株式2,298百万円）減損処理を行っております。なお、関係会社株式に係る評価損は、過年度に計上しておりました関係会社株式に対する投資損失引当金の戻入益707百万円と相殺し、関係会社株式評価損1,591百万円を特別損失に計上しております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	2,626	-	-	-
金銭の信託	41,524	-	-	-
未収委託者報酬	23,936	-	-	-
未収運用受託報酬	4,336	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	24,399	-	-	-
合計	96,823	-	-	-

有価証券関係

前事業年度（自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日）

1．売買目的有価証券(2019年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(2019年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(2019年3月31日)

該当事項はありません。

4．その他有価証券(2019年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 株式	-	-	-
小計	-	-	-

貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	19,900	19,900	-
小計	19,900	19,900	-
合計	19,900	19,900	-

５．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

１．売買目的有価証券(2020年3月31日)

該当事項はありません。

２．満期保有目的の債券(2020年3月31日)

該当事項はありません。

３．子会社株式及び関連会社株式(2020年3月31日)

該当事項はありません。

４．その他有価証券(2020年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	4,400	4,400	-
コマーシャル・ペーパー	19,999	19,999	-
小計	24,399	24,399	-
合計	24,399	24,399	-

５．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

退職給付関係

前事業年度(自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	21,398 百万円
勤務費用	951
利息費用	179
数理計算上の差異の発生額	1,672
退職給付の支払額	737
過去勤務費用の発生額	71
その他	15
退職給付債務の期末残高	23,551

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	17,373 百万円
期待運用収益	434
数理計算上の差異の発生額	241
事業主からの拠出額	483
退職給付の支払額	579
年金資産の期末残高	17,469

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	20,181 百万円
年金資産	17,469
	2,712
非積立型制度の退職給付債務	3,369
未積立退職給付債務	6,082
未認識数理計算上の差異	5,084
未認識過去勤務費用	220
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,218
退職給付引当金	3,219
前払年金費用	2,001
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,218

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	951 百万円
利息費用	179
期待運用収益	434
数理計算上の差異の費用処理額	598
過去勤務費用の費用処理額	38
確定給付制度に係る退職給付費用	1,255

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	47%
株式	41%
生保一般勘定	12%
その他	0%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.7%
退職一時金制度の割引率	0.4%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、197百万円でした。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	23,551 百万円
勤務費用	1,034
利息費用	154
数理計算上の差異の発生額	138
退職給付の支払額	858
その他	17
退職給付債務の期末残高	23,761

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	17,469 百万円
期待運用収益	436
数理計算上の差異の発生額	393
事業主からの拠出額	566
退職給付の支払額	666
年金資産の期末残高	17,413

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	20,462 百万円
年金資産	17,413
	3,048
非積立型制度の退職給付債務	3,299
未積立退職給付債務	6,347
未認識数理計算上の差異	4,764
未認識過去勤務費用	185
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,766
退職給付引当金	3,311
前払年金費用	1,545
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,766

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	1,034 百万円
利息費用	154
期待運用収益	436
数理計算上の差異の費用処理額	572
過去勤務費用の費用処理額	35
確定給付制度に係る退職給付費用	1,289

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	57%
株式	24%
生保一般勘定	12%
生保特別勘定	7%
その他	0%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	0.6%
退職一時金制度の割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、202百万円でした。

税効果会計関係

前事業年度末 (2019年3月31日)		当事業年度末 (2020年3月31日)	
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,175	賞与引当金	1,235
退職給付引当金	998	退職給付引当金	1,026
関係会社株式評価減	51	関係会社株式評価減	762
投資有価証券評価減	708	投資有価証券評価減	462
未払事業税	288	未払事業税	285
時効後支払損引当金	172	時効後支払損引当金	177
減価償却超過額	171	減価償却超過額	171
ゴルフ会員権評価減	192	ゴルフ会員権評価減	167
関係会社株式売却損	148	関係会社株式売却損	148
未払社会保険料	82	未払社会保険料	97
その他	633	その他	219
繰延税金資産小計	4,625	繰延税金資産小計	4,754
評価性引当額	1,295	評価性引当額	1,532
繰延税金資産合計	3,329	繰延税金資産合計	3,222
繰延税金負債		繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	15	その他有価証券評価差額金	4
前払年金費用	620	前払年金費用	478
繰延税金負債合計	635	繰延税金負債合計	483
繰延税金資産の純額	2,694	繰延税金資産の純額	2,738

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	31.0%	法定実効税率	31.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.1%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.0%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.6%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	4.4%
タックスヘイブン税制	2.6%	タックスヘイブン税制	2.6%
外国税額控除	0.6%	外国税額控除	0.7%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.3%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.2%
その他	1.3%	その他	0.4%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%

セグメント情報等

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

関連当事者情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492 (百万円)	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借及び購入等 役員の兼任	資金の借入(*1)	3,000	短期借入金	-
							資金の返済	3,000		
							借入金利息の支払	1	未払費用	-

(イ) 子会社等
該当はありません。

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	34,646	未払手数料	6,410

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、
ニューヨーク証券取引所に上場）

（２）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自 2019年4月 1 日 至 2020年3月31日)

１．関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

該当はありません。

（ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村證券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*1）	31,378	未払手数料	5,536
							コマーシャル・ペーパーの購入（*2）	20,000	有価証券	19,999
							有価証券受取利息	0	その他営業外収益	0

（エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) １．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

２．取引条件及び取引条件の決定方針等

（*1） 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

（*2） コマーシャル・ペーパーの購入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、

ニューヨーク証券取引所に上場）

（２）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

１株当たり情報

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
１株当たり純資産額	16,882円89銭	１株当たり純資産額	16,557円31銭
１株当たり当期純利益	4,984円30銭	１株当たり当期純利益	4,658円88銭
潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
１株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益 25,672百万円 普通株式に係る当期純利益 25,672百万円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数 5,150,693株		１株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益 23,996百万円 普通株式に係る当期純利益 23,996百万円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数 5,150,693株	

４【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等(委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下 において同じ。)又は子法人等(委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記 に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

(1)定款の変更

委託者の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2)訴訟事件その他の重要事項

委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1)受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 2020年9月末現在

(2)販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
いちよし証券株式会社	14,577百万円	
四国アライアンス証券株式会社	3,000百万円	
株式会社SBI証券	48,323百万円	
OKB証券株式会社	1,500百万円	
香川証券株式会社	555百万円	
aucabコム証券株式会社	7,196百万円	
九州FG証券株式会社	3,000百万円	
株式会社証券ジャパン	3,000百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
西日本シティTT証券株式会社	3,000百万円	
北洋証券株式会社	500百万円	
八十二証券株式会社	3,000百万円	
百五証券株式会社	3,000百万円	
マネックス証券株式会社	12,200百万円	
山和証券株式会社	585百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	
ワイエム証券株式会社	1,270百万円	

株式会社秋田銀行	14,100百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社イオン銀行	51,250百万円	
株式会社池田泉州銀行	61,385百万円	
株式会社伊予銀行	20,948百万円	
株式会社大垣共立銀行	46,773百万円	
株式会社関西みらい銀行	38,971百万円	
株式会社北九州銀行	10,000百万円	
株式会社新生銀行	512,204百万円	
スルガ銀行株式会社	30,043百万円	
株式会社第四銀行 ^{1、2}	32,776百万円	
株式会社但馬銀行	5,481百万円	
株式会社筑波銀行	48,868百万円	
株式会社東京スター銀行	26,000百万円	
株式会社東邦銀行	23,519百万円	
株式会社名古屋銀行	25,090百万円	
株式会社肥後銀行	18,128百万円	
株式会社百五銀行	20,000百万円	
株式会社北越銀行 ²	24,538百万円	
株式会社北洋銀行	121,101百万円	
株式会社北陸銀行	140,409百万円	
株式会社北國銀行	26,673百万円	
株式会社もみじ銀行	10,000百万円	
株式会社山口銀行	10,005百万円	
株式会社琉球銀行	56,967百万円	

* 2020年9月末現在

1 株式会社第四銀行は、2020年11月30日より募集・販売等の事務を開始します。

2 株式会社第四銀行と株式会社北越銀行は、2021年1月1日付をもって合併し、株式会社第四北越銀行（資本金：32,776百万円）となる予定です。

2【関係業務の概要】

(1)受託者

ファンドの受託会社(受託者)として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。

(2)販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いおよび販売を行ない、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

3【資本関係】

(持株比率5.0%以上を記載します。)

(1)受託者

該当事項はありません。

(2)販売会社

該当事項はありません。

第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

提出年月日	提出書類
2019年11月28日	有価証券届出書
2019年11月28日	有価証券報告書
2020年 5月26日	有価証券届出書
2020年 5月26日	半期報告書

独立監査人の監査報告書

2020年6月10日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	亀井 純子
--------------------	-------	-------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	櫻井 雄一郎
--------------------	-------	--------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	津村 健二郎
--------------------	-------	--------

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第61期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成すること

が適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1．上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- 2．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年10月16日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

亀井純子

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊藤志保

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村インデックスファンド・国内債券の2019年9月7日から2020年9月7日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村インデックスファンド・国内債券の2020年9月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

強調事項

その他の注記に記載されているとおり、委託会社は、当ファンド及び「野村ターゲットプライス「日経225」（国内債券運用移行型）」を対象として、当ファンドを存続ファンドとする、投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定するファンドの併合を2020年5月27日に行った。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。